

FIRE REPORT 2018



文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練
於 宗像大社

福岡県
宗像地区消防本部

Firereport2018 は、宗像地区消防本部の消防現勢及び平成29年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、このFirereport2018 の統計資料は原則として暦年をもって表していますが、予算その他との関係から会計年度で収録したものもあります。

平成 30 年 8 月

【表紙】

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。当本部では、毎年文化財防火デーにあわせて、平成29年7月に世界遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の一部である「宗像大社」において訓練を実施しています。

一目でわかる宗像消防

人 口	面 積	世 帯 数
160,572人	172.67km ²	68,764世帯
署 所	消防職員	平均年齢(消防職員)
2署2出張所 1分遣所	142人 (うち再任用短期職員6人)	38.1歳
防火対象物	危険物施設	消 防 水 利
3,893棟	178施設	消火栓 1,701基 防火水槽 716基
出火件数	救急出動件数	消 防 団 員
47件	6,385件	935人



むなかたの消防

管内の概要	1
地域紹介	2
消防本部(署)の配置現況	4
組合・消防本部沿革	6
組合の組織	12
消防本部・消防署の組織	13
消防本部の事務分掌	15
消防署の事務分掌	17
消防相互応援協定の状況	19
消防本部の主なできごと	20

財政の状況	31
過去3年間における消防負担金状況	31
平成30年度宗像地区事務組合 一般会計当初予算	32
平成28年度消防費決算額と 一般会計決算額との比較	32
平成28年度消防費決算と 消防費基準財政需要額	33

予 防

防火対象物の現状	34
消防用設備等の設置状況	35
防火管理者を必要とする事業所の状況	36
防火対象物の予防査察状況	37
建築同意事務処理状況	38
中高層建築物(5階以上)の現状 工事整備対象設備等着工届 事務処理状況	40
法令に基づく届出処理状況	40
危険物施設の現況	41
危険物施設立入検査実施状況	41
危険物規制事務処理状況	42
宗像地区防災協会	43
宗像地区幼少年婦人防火委員会	44
防火団体構成表	45

総 務

職員の階級別定員および実員	22
職員の階級別任用、退職状況	22
職員の配置状況	22
職員の階級別年齢	23
職員の階級別勤続年数	24
職員の資格(講習)取得状況	25
職員の研修状況	26
消防大学の教育状況	27
職員の表彰受賞状況	27
訓練・指導等の実施状況	28
職員の教養実施状況	28
消防力の状況	29
面積・人口および世帯数に対する 常備消防力	30
消防団の現況	30

警 防

車両・資器材等

現有車両の諸性能	46
消防車両等の配置状況	48
救助資器材の配置状況	50
消防水利の現況	50
救急資器材の配置状況	52

火 災

平成29年中の火災概況	53
火災の状況	54
火災種別件数	55
火災種別損害額	55
市別出火件数	56
市別損害額	56
市別火災状況	57
月別出火件数及び損害状況	59
過去10年間の出火件数の推移	60
原因別出火件数	61
過去10年間の主な出火原因の推移	61
建物用途別出火件数	62
建物火災の出火原因	62
覚知別出火件数	63
曜日別出火概況	63
時間別出火概況	64
気象別出火件数	65
月別・市別出動車両・出動人員	66

救 急

平成29年中の救急概況	67
過去10年間の救急出動件数及び 人口の推移	68
過去10年間の3大事故種別(急病・交通事故 ・一般負傷)の出動件数の推移	69
管内総括表	70
市別総括表	71
救急自動車による現場到着所要時間別 出動件数の状況	72
医療機関収容所要時間	73
曜日別出動件数	74
時間別出動件数	75
傷病程度別搬送人員	76

年齢別搬送人員	77
救急隊員が行った応急処置等の状況	78
急病にかかる疾病分類別搬送人員	79
応急手当普及啓発活動状況	80
消防隊による救急活動状況	81

救 助

平成29年中の救助概況	82
管内総括表	83
主な救助活動	83
市別救助出動件数	84
月別救助出動件数	84

通 信 指 令

119番受信状況	85
----------	----

消 防 団

消防団の活動	86
消防団の組織	87
福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織	89
消防団員の定員および実員	89
消防団の出動状況	89
消防ポンプ車等の装備状況	89

宗像地区は、福岡県北部に位置し、福岡市と北九州市という2つの政令指定都市の中間にあるという立地の良さと、東西に横断するJR鹿児島本線や国道3号線および国道495号線により二大都市への交通アクセスが充実し、住宅団地や大学、大型商業施設などが相次いで進出しました。これに伴い、急激な都市化が進み、生活環境や都市基盤が整備され、教育や文化、子育て支援などが充実し、人口も増加してきました。人口減少時代に突入している現在においても、人口を維持し続けています。



宗像市日の里から玄界灘を望む

また、北東には四塚の峰が連なり、西は玄界灘に面し、白砂青松の地は玄海国立公園の一角をなしており、古墳や住居跡が点在し、玄界灘を中心に活躍した「宗像海人賊」によってさまざまな大陸文化がもたらされ、宗像大社、鎮国寺、宮地嶽神社をはじめとする国宝や重要文化財にも指定された神社、仏閣等も点在し、「古事記」や「万葉集」にも地名がみられるなど、古から栄えたことを物語っています。

さらに、福岡県と宗像市、福津市は協力して「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を設置して、世界遺産登録に向けて官民一体となった取り組みを推進し、「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録の国内候補に選ばれ、平成28年1月28日に正式版推薦をフランス・パリのユネスコ世界遺産センターに提出し、受理されました。平成29年5月6日に、『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群について、イコモス(国際記念物遺跡会議)より、「記載」が適当(ただし、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮、宗像大社辺津宮、新原・奴山古墳群を除く)との勧告がなされました。さらに7月9日には、ユネスコの世界遺産委員会により、イコモスによって除外された残りの構成資産も世界文化遺産に登録されることが決まりました。

管内の面積・人口および世帯数

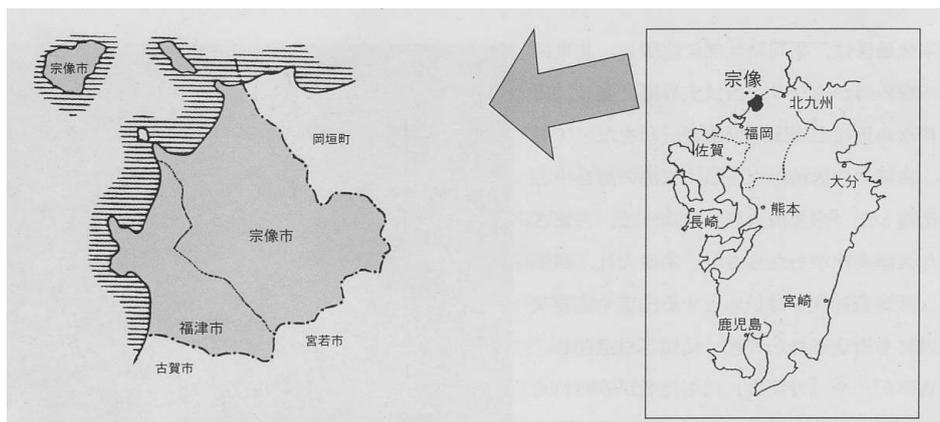
(平成30年3月31日)

構成市	面積(km ²)	人口(人)	世帯数(世帯)
宗像市	119.91	97,027	42,156
福津市	52.76	63,545	26,608
合計	172.67	160,572	68,764

※市町村合併の状況

平成15年4月1日宗像市と旧玄海町が合併。「新宗像市」となる。
 平成17年1月24日旧福間町と旧津屋崎町が合併。「福津市」となる。
 平成17年3月28日旧大島村が宗像市へ編入合併。

地域紹介



宗像市 MUNAKATA

- 人口 / 97,027人
 - 世帯数 / 42,156世帯
 - 面積 / 119.91km²
- 「海・山・川に生まれ、教育・文化と歴史がいきるコミュニティのまち」



海上神幸「みあれ祭」

◆宗像市のプロフィール◆

福北大都市圏のほぼ真ん中に位置する宗像市。市の北西部は玄界灘に面し、白い砂浜の海岸線と樹齢200年以上の黒松並木が続くさつき松原は、玄海国立公園の中でも屈指の景観を誇っています。市内には、日本最古の神社である宗像大社や弘法大師が開基した鎮国寺、装飾古墳の桜京古墳など多くの歴史的遺跡が点在しており、玄界灘の孤島沖ノ島では、純金製指環、青銅鏡、ペルシャカットガラスなど約12万点もの国宝や重要文化財が発掘され、別名「海の正倉院」と呼ばれており、この沖ノ島（宗像大社沖津宮）、小屋島、御門柱、天狗岩、宗像大社沖津宮遙拝所、宗像大社中津宮及び宗像大社辺津宮が世界文化遺産に登録されました。

また、美しい自然や歴史的な文化遺産に恵まれた良好な環境の中、市内には2つの大学が立地し、総合文化施設である宗像ユリックスやむなかたリサーチパークなど、学術都市としての特徴があります。

福 津 市 FUKUTSU

- 人 口 / 63,545人
 - 世帯数 / 26,608世帯
 - 面 積 / 52.76km²
- 「人を、明日を、誇るまち。
福津。」



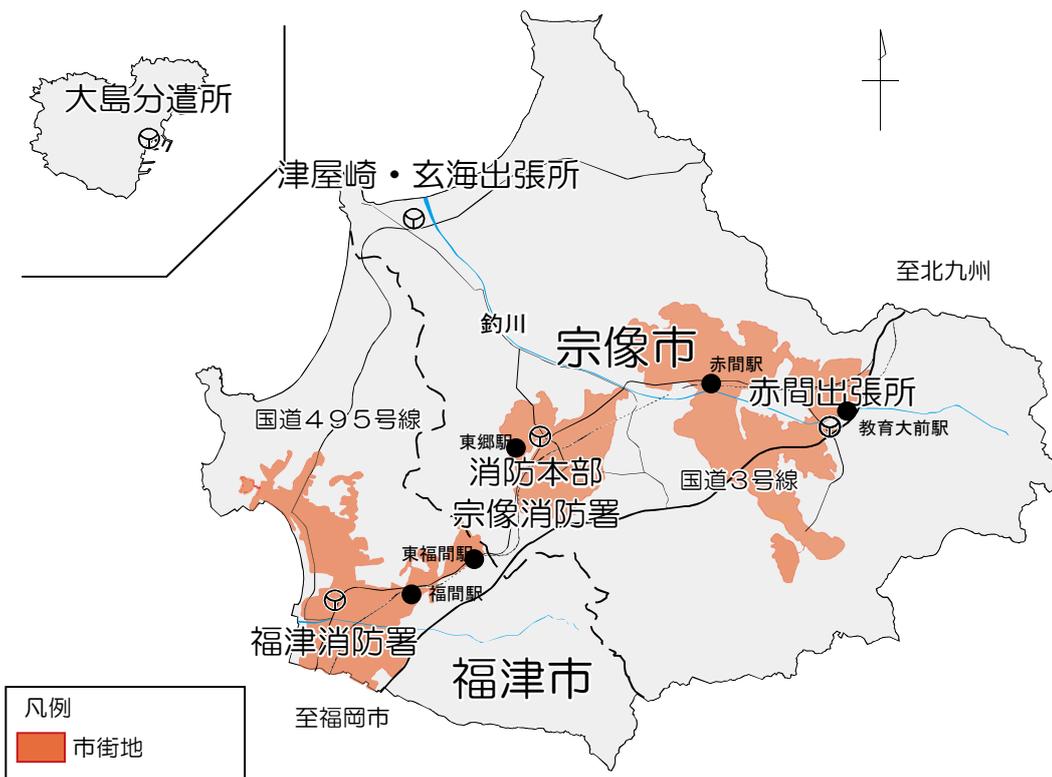
福 間 海 岸

◆福津市のプロフィール◆

福津市は、福岡県の北部で福岡市と北九州市の近隣に位置し、北東側は宗像市、南東側は宮若市、南側は古賀市に隣接しており、西側は玄界灘に面しています。また、東部を山、西部を海に囲まれ、特に海岸一帯と宮地嶽神社周辺の山林は、昭和31年に玄海国定公園に指定され、風光明媚な自然景観を形成しています。一方、交通網は、東西にJR鹿児島本線、国道3号線が延び、海岸線と併行して国道495線号が走っています。さらに、近くには九州自動車若宮インターチェンジ、古賀インターチェンジもあり、広域的な交通利便性にも富んでいます。このため、福津市は宮地嶽神社や津屋崎・福間海岸などを中心とした観光レクリエーションの場として、また、福岡・北九州両政令指定都市への通勤・通学の利便性を背景とした住宅地域として、さらには、新鮮な食料品の生産供給地域としての広域的な役割をもっています。また、平成29年7月9日に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」として、福津市北部の勝浦・奴山に所在する新原(しんぼる)・奴山(ぬやま)古墳群が世界文化遺産に登録されました。

消防本部(署)の配置現況

管内地図



(平成30年4月1日現在)

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像地区 消防本部	 宗像市田熊5丁目1番3号	敷地面積 4,521.51㎡ 鉄筋コンクリート造 及び鉄骨造 2階建 建築面積 1,338.81㎡	職員数33人 (内再任用者1人) 車両台数 3台	TEL (0940) 36-2425 FAX (0940) 37-0011
宗像消防署		延べ面積 2,415.43㎡ (訓練塔等を含む)	職員数54人 (内再任用者3人) 車両台数 13台	

区分	庁舎全景(所在地)	庁舎の構造	職員・車両	摘要
宗像消防署	赤間出張所  宗像市徳重2丁目8番1号	敷地面積 1,118.31㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 294.64㎡ 延べ面積 402.41㎡	職員数18人 車両台数 3台	TEL (0940) 32-6837 FAX (0940) 35-5195
	大島分遣所  宗像市大島1650-2	敷地面積 645.00㎡ 鉄骨ブロック造 平屋建 延べ面積 160.46㎡ (倉庫等を含む)	職員数3人 (内再任用者1人) 車両台数 1台	TEL (0940) 72-2310 FAX (0940) 72-2546
福津消防署	福津消防署  福津市西福間1丁目1番27号	敷地面積 1,051.03㎡ 鉄筋コンクリート造 2階建 建築面積 292.73㎡ 延べ面積 501.64㎡ (倉庫等を含む)	職員数26人 (内再任用者1人) 車両台数 4台	TEL (0940) 43-0521 FAX (0940) 43-7034
	津屋崎・玄海出張所  宗像市牟田尻1860-41	敷地面積 1,165.00㎡ 鉄骨造 2階建 建築面積 214.55㎡ 延べ面積 307.28㎡	職員数8人 車両台数 2台	TEL (0940) 62-3815 FAX (0940) 62-1206

組合・消防本部沿革

(設立)

昭和48年11月15日宗像郡宗像町の日の里公団アパートにおいて、プロパンガスの爆発火災(死者2人、重軽傷者9人)が発生し、これに端を発し、直ちに宗像町議会で常備消防の必要性が議論され、これが郡内他町村へ波及し、広域消防設立への気運が高まった。

その後、数回にわたる郡内町村会議による協議の結果、宗像郡消防組合設立が決定され、昭和49年4月1日付をもって福岡県知事より消防組合設立の許可を受け、同年6月1日宗像郡消防本部、同年10月1日宗像消防署の設置を見るに至った。

(過程)

昭和 49 年	4 月	1 日	初代組合長 由良半三郎氏就任
(1974)	6 月	1 日	消防本部(署)の設置に関する条例が組合議会において可決 初代消防長 宗實就任
	7 月	13 日	日本消防協会から広報車が寄贈される
	7 月	31 日	宗像郡消防本部(署)建設用地の確保及び福岡分署建設用地の購入決定
	9 月	1 日	消防本部(署)の仮事務所を、宗像町大字田熊1193番地の1の旧宗像農業改良普及事務所跡地に開設
	10 月	1 日	消防業務の一部(予防事務及び火災原因調査)を開始
	10 月	1 日	消防吏員40人採用(内38人が福岡県消防学校初任教育に入校)
	10 月	25 日	大島分遣所建設用地の確保決定 (大島村と借地契約を締結:無償期間2025年3月31日まで)
	10 月	15 日	消防庁舎(3署所)の建設工事契約及び着工
昭和 50 年	3 月	17 日	日本損害保険協会及び日本自動車工業会から救急自動車各1台が寄贈される
(1975)	3 月	20 日	福岡県消防学校初任教育(38人)を修了し、実務に就いた
	3 月	31 日	消防庁舎(3署所)建築工事が完成
	4 月	1 日	消防庁舎(3署所)の開庁式及び消防業務が全面開始
	4 月	1 日	消防吏員11人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	1 日	宗像町サイレン遠隔操作開始
	10 月	16 日	救助工作隊結成
昭和 51 年	2 月	18 日	屈折はしご付消防ポンプ自動車購入
(1976)	4 月	1 日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	16 日	二代目組合長 天野敏樹氏就任
	7 月	31 日	救助工作車購入
	10 月	1 日	消防吏員1人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11 月	15 日	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車が寄贈される
	11 月	22 日	日本損害保険協会から救急自動車が寄贈される
	12 月	7 日	本部敷地内に車庫1棟を建設
昭和 52 年	3 月	1 日	広報紙「消防宗像」創刊号を発行
(1977)	3 月	31 日	救急無線取付工事完了
	6 月	6 日	人員搬送車を購入
	6 月	13 日	大島分遣所電動シャッター取付工事完了
	10 月	1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	29 日	化学消防ポンプ自動車を購入、本署に配備
昭和 53 年	3 月	24 日	(有)蔭田モータースから査察車が寄贈される
(1978)			
昭和 54 年	1 月	20 日	本署用地所有権移転登録完了
(1979)	10 月	1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	10 月	25 日	大島分遣所危険物屋内貯蔵所完成
	11 月	1 日	本署消防訓練塔着工
	12 月	11 日	日本自動車工業会から救急自動車が寄贈される
	12 月	20 日	本署少量危険物屋内貯蔵所完成

昭和 55 年 (1980)	1 月 22 日	本署仮設車庫完成
	2 月 7 日	宗像オートから水防用資機材運搬車が寄贈される
	3 月 13 日	本署消防訓練塔完成
	8 月 10 日	本署自家発電設備設置
	8 月 31 日	本署通信指令室増改築
昭和 56 年 (1981)	12 月 1 日	高層ビルガス爆発防ぎょ訓練実施(宗像市日の里)
	4 月 1 日	消防本部名称変更(宗像郡消防本部から宗像地区消防本部)
	4 月 1 日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月 30 日	本署、タイプ室及び給湯室増改築
	10 月 25 日	玄洋福岡ライオンズクラブから指令車寄贈、本署に配備
昭和 57 年 (1982)	11 月 15 日	日本自動車工業会から救急自動車寄贈、本署に配備
	2 月 15 日	二代目消防長 山内伸夫就任
	3 月 30 日	福岡分署敷地拡張用地(301㎡)購入
	6 月 1 日	無線制ぎょサイレン(宗像、福岡、津屋崎、玄海)設置
	6 月 21 日	福岡分署車庫シャッター取付工事完了
昭和 58 年 (1983)	8 月 10 日	福岡分署敷地拡張工事竣工
	8 月 20 日	消防無線空中線改修
	9 月 30 日	福岡分署訓練塔(鉄骨造)完成
	11 月 1 日	本署訓練塔(鉄骨ALC)完成
	11 月 4 日	事務連絡車購入、本部に配備
昭和 59 年 (1984)	12 月 27 日	本署屋内訓練場改修
	12 月 27 日	本署倉庫兼書庫(鉄骨プレハブ造)完成
	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 31 日	査察車購入、本部に配備
	10 月 9 日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
昭和 60 年 (1985)	11 月 20 日	消防ポンプ自動車を購入、福岡分署に配備
	3 月 4 日	乗用車購入、本部に配備
	4 月 1 日	三代目消防長 坂本守正就任
	5 月 2 日	指揮車購入、福岡分署に配備
	10 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
昭和 61 年 (1986)	10 月 12 日	救助工作車購入、本署に配備
	10 月 22 日	福岡県共済農業協同組合連合会から救急自動車寄贈され、福岡分署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 7 日	調査車購入、本署に配備
	5 月 14 日	広報車購入、本部に配備
昭和 62 年 (1987)	5 月 24 日	人員搬送車購入、本署に配備
	6 月 16 日	福岡分署改築工事竣工
	9 月 3 日	消防ポンプ自動車購入、本署に配備
	9 月 10 日	資機材運搬車購入、本署に配備
	8 月 18 日	本部(署)庁舎増改築工事着工
昭和 63 年 (1988)	3 月 15 日	本部(署)庁舎増改築工事竣工
	5 月 26 日	福岡県総合防災訓練実施(玄海町鐘崎)
	6 月 2 日	三代目組合長 的場重郎氏就任
	9 月 1 日	本署通信指令室の移転工事着工

平成 元年 (1989)	2月 1日	本署通信指令室の改築工事完了	
	2月 1日	消防緊急情報システム運用開始	
	3月 17日	救急自動車購入、赤間出張所に配備	
	4月 1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	6月 1日	赤間出張所建設工事着工	
	9月 27日	(社)日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車が寄贈され、赤間出張所に配備	
	9月 30日	赤間出張所建設工事完了	
	10月 9日	赤間出張所実働開始	
	平成 2年 (1990)	4月 1日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
		5月 17日	(社)日本損害保険協会から救急自動車が寄贈され、赤間出張所に配備
7月 20日		神湊出張所建設工事着工	
11月 20日		水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備	
12月 20日		神湊出張所建設工事完了	
12月 26日		神湊出張所実働開始	
平成 3年 (1991)	3月 27日	玄洋福岡ライオンズクラブから救急自動車が寄贈される	
	4月 1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	5月 30日	福岡分署仮眠室ベット改修工事完了	
	7月 25日	大島分遣所軽量シャッター取付工事完了	
	10月 30日	訓練塔(主塔)改修工事完了	
平成 4年 (1992)	3月 5日	水槽付消防ポンプ自動車購入、本署に配備	
	3月 31日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(81.82㎡)	
	4月 1日	消防吏員10人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	8月 15日	大島分遣所内装工事完了	
	10月 12日	四代目組合長 瀧口凡夫氏就任	
	11月 27日	本部の前面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(45.05㎡)	
平成 5年 (1993)	4月 1日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	4月 1日	財務会計処理のためのコンピューター導入	
	7月 10日	福岡分署シャッター取替工事完了	
	10月 4日	40m級はしご付消防ポンプ自動車を購入	
平成 6年 (1994)	2月 28日	日本自動車工業会から高規格救急自動車(ニッサンパラメディック)が寄贈される	
	3月 17日	屈折はしご付消防ポンプ自動車を戦友会を通じてミャンマーへ贈る	
	4月 1日	四代目消防長 多賀富男就任	
	4月 1日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	4月 19日	消防組合設立20周年記念式典開催 広報用ビデオ「出動!!ファイヤーファイター」制作 20周年記念誌「消防宗像(20年の歩み)」作成	
	7月 29日	指令車(スバルレガシー・ワゴン)購入、本署に配備	
	9月 6日	福岡無線中継局更新	
	11月 11日	救急伝送システム運用開始、宗像水光会総合病院に設置	
	平成 7年 (1995)	2月 17日	阪神淡路大震災による被災地(神戸市)支援部隊派遣
		4月 1日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
4月 24日		乗用車(トヨタ・クラウン)購入、本部に配備	
5月 27日		消防庁長官から、阪神淡路大震災の消防支援活動功勞として感謝状が贈られる	
6月 30日		緊急消防援助隊発足(救急隊を登録)	
9月 18日		赤間出張所増築工事完了	
10月 18日		福岡分署内装補修工事完了	
11月 1日		赤間出張所8人増員、1箇分隊増強	
11月 1日	防災パンフレット「わが家の防災ガイド」を60,000部作成し、管内全世帯に配布する		

	12月16日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、赤間出張所に配備
	12月28日	救急伝送システムを宗像医師会病院に設置(管内2ヵ所目)
平成 8年 (1996)	4月1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	5月29日	大規模災害時の応急救護所及び現場指揮所等施設のために、エアータント購入
	9月12日	事務連絡車(トヨタカローラ・ワゴン)購入、本部に配備
	10月7日	大島村住民向けに、ネットワークサービス(オフトークシステム)運用開始
	10月28日	宗像消防署訓練塔改修工事
	11月5日	救急伝送システムを蜂須賀病院に設置(管内3ヵ所目)
	11月27日	小型動力ポンプ付積載車購入、大島分遣所に配備
平成 9年 (1997)	4月1日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月1日	調査車(トヨタハイエース)購入、本部に配備
	7月7日	査察車(マツダカペラ・ワゴン)購入、本部に配備
	8月28日	福岡県知事から、消防防災功労団体として、消防本部に感謝状が贈られる
	11月4日	化学消防ポンプ自動車(日野FD1JGB10643)購入、本署に配備
	11月21日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、 福岡分署に配備
平成 10年 (1998)	1月27日	宗像消防署・福岡分署・大島分遣所改修工事完了
	3月7日	消防庁長官から優良消防機関として、消防本部に表彰旗が贈られる
	4月1日	宗像地区事務組合公平委員会事務が、宗像清掃施設組合から 宗像地区消防組合に移管される
	11月25日	消防ポンプ自動車(モリタMX1)購入、本署に配備
	12月21日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、 赤間出張所に配備
平成 11年 (1999)	3月31日	財務会計システムを更新
	11月15日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、 神湊出張所に配備
	11月18日	指揮車(ニッサンセレナ)購入、本署に配備
	11月26日	福岡分署倉庫新築
平成 12年 (2000)	4月1日	五代目消防長 吉武秋生就任
	4月17日	消防車救急先行システム開始
	6月8日	五代目組合長 池浦順文氏就任
	8月29日	救助工作車(日野KK-GD1JGDF)購入、本署に配備
	10月17日	広報車(トヨタカルディア)購入、福岡分署に配備
平成 13年 (2001)	4月1日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	11月1日	玄洋福岡ライオンズクラブから「インパルス消火システム」が寄贈され、 本署に配備
平成 14年 (2002)	1月29日	消防ポンプ自動車購入、福岡分署に配備
	2月1日	高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)購入、本署に配備
	2月15日	神湊出張所倉庫増築工事完了
	4月1日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	12月19日	水槽付消防ポンプ自動車購入、赤間出張所に配備
平成 15年 (2003)	4月1日	旧宗像市と旧玄海町が合併新「宗像市」誕生
	4月8日	消防吏員5人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月25日	はしご付消防ポンプ自動車オーバーホール完了
	8月4日	赤間出張所屋根防水工事完了
	8月4日	神湊出張所外壁塗装工事完了
	8月29日	資機材搬送車購入、本署に配備
	10月1日	六代目消防長 木村幸雄就任
平成 16年 (2004)	4月7日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7月10日	本部(署)庁舎増改築工事着工

平成 17 年 (2005)	1 月	24 日	旧福間町と旧津屋崎町が合併「福津市」誕生	
	1 月	24 日	六代目組合長 原田慎太郎氏就任	
	1 月	31 日	本部（署）庁舎増改築工事完了	
	3 月	28 日	旧大島村が宗像市へ編入合併	
	3 月	28 日	七代目組合長 池浦順文氏就任	
	3 月	31 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福間分署に配備	
	4 月	1 日	緊急消防援助隊に消火部隊を登録	
	4 月	1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
	12 月	17 日	本部（署）庁舎改築第2期工事着工	
	12 月	19 日	災害対応特殊高規格救急自動車(ニッサンパラメディック災害対応型)、緊急消防援助隊動態情報システム購入、赤間出張所に配備	
	平成 18 年 (2006)	3 月	7 日	高機能消防指令センター総合整備事業完了、運用開始
		4 月	1 日	交替制勤務職員の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
4 月		1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校	
5 月		28 日	福岡県総合防災訓練実施(福津市西福間)	
平成 19 年 (2007)	12 月	21 日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入、神湊出張所に配備	
	1 月	1 日	消防本部に救急課を設置	
	3 月	31 日	宗像地区内の一部事務組合の統合により宗像地区消防組合が解散	

※ 平成19年4月1日、宗像地区消防組合、宗像自治振興組合、宗像地区水道企業団及び宗像清掃施設組合が統合し、「宗像地区事務組合」となる。これに伴い3月31日をもって消防組合は解散。

平成 19 年 (2007)	4 月	1 日	旧宗像地区水道企業団、旧宗像自治振興組合、旧宗像清掃施設組合、旧宗像地区消防組合が統合し宗像地区事務組合発足
	4 月	1 日	初代組合長 池浦順文氏就任
	4 月	1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	9 月	1 日	IP・携帯電話発信地表示システム運用開始
	11 月	1 日	財務会計システムを更新
平成 20 年 (2008)	3 月	31 日	訓練塔補修工事(屋外階段設置等)完了
	4 月	1 日	消防吏員6人採用、内4人が福岡県消防学校初任教育に入校
	6 月	16 日	消防本部庁舎空調機器改修工事完了
	10 月	1 日	消防吏員1人採用、内3人が福岡県消防学校初任教育に入校
平成 21 年 (2009)	10 月	31 日	人事情報システム導入
	1 月	23 日	福間無線中継局、ネットワーク設備改修工事完了
	2 月	24 日	消防・救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査実施(フィールドテスト)
	3 月	6 日	二代目組合長 谷井博美氏就任
	4 月	1 日	七代目消防長 乙藤富雄就任
	4 月	1 日	消防吏員3人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	7 月	21 日	庁舎耐震診断実施(本署・福間分署)
	8 月	24 日	赤間出張所の全面敷地を県道拡張のため、福岡県に売却(85.2㎡)
	12 月	10 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、本署に配備
	平成 22 年 (2010)	2 月	1 日
4 月		1 日	宗像地区事務組合水道事業統合
4 月		1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
5 月		21 日	三代目組合長 小山達生氏就任
10 月		1 日	119番緊急通報に係る位置情報通知システム(統合型)運用開始
	10 月	1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校

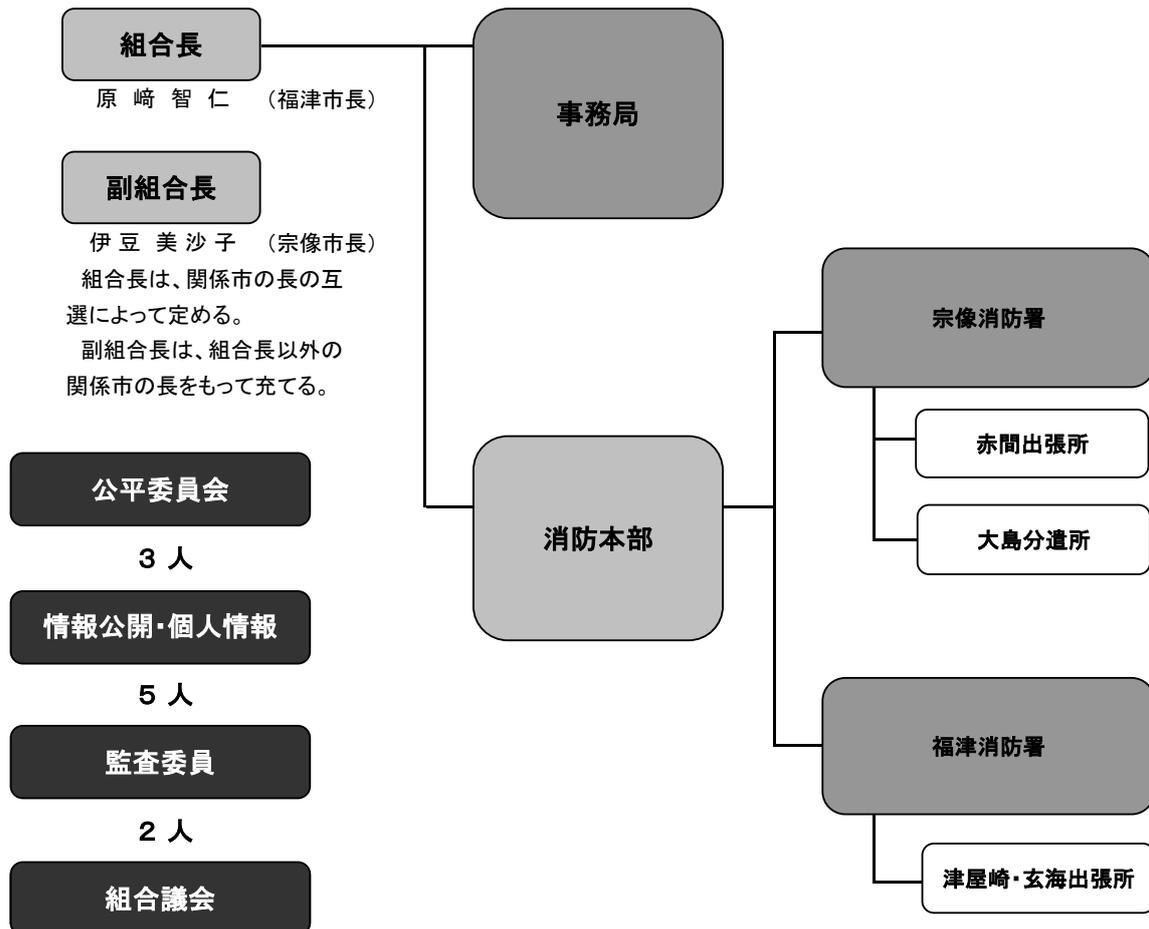
平成 23 年 (2011)	2 月 25 日	水槽付消防ポンプ自動車購入、福間分署に配備
	3 月 14 日	東日本大震災により緊急消防援助隊福岡県隊として宮城県亘理郡山元町へ 消火隊及び救急隊各1隊(7人)出動
	4 月 1 日	八代目消防長 門脇 豊就任
	4 月 1 日	消防吏員6人採用、内3人が4月、内3人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
	12 月 27 日	消防情報表示システム地図検索データ改修完了
平成 24 年 (2012)	3 月 28 日	消防救急無線デジタル化基本設計完了 消防指令システム地図検索データ改修完了
	4 月 1 日	消防吏員3人採用、内2人が4月、内1人が9月に福岡県消防学校初任教育に入校
	5 月 21 日	四代目組合長 谷井博美氏就任
	6 月 14 日	赤間出張所外部改修工事完了
	9 月 21 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、神湊出張所に配備
	9 月 24 日	高機能消防指令センター中間整備事業完了
平成 25 年 (2013)	11 月 8 日	宗像消防署訓練塔改修工事完了
	2 月 21 日	人員搬送車を更新
	3 月 19 日	消防救急無線デジタル化実施設計完了
	4 月 1 日	消防吏員4人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
平成 26 年 (2014)	7 月 16 日	福間分署公共下水切替及び1階2階トイレ改修工事完了
	2 月 3 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、赤間出張所に配備
	3 月 5 日	支援車(日産エクストレイル)購入、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 1 日	交替制勤務職員の勤務体制を三部制から二部制とし運用開始
	5 月 21 日	五代目組合長 小山達生氏就任
	7 月 11 日	福間分署空調設備取替工事完了
	12 月 15 日	高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)購入、福間分署に配備
平成 27 年 (2015)	12 月 25 日	小型動力ポンプ付積載車(ダイハツハイジェット)購入、大島分遣所に配備
	3 月 18 日	宗像消防署訓練塔屋上鉄骨補強、塗装工事完了
	3 月 18 日	消防救急無線デジタル化整備工事完了
	4 月 1 日	消防吏員2人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	8 月 20 日	署活動用無線機を購入、署所へ配置
	9 月 3 日	事務連絡車(日産ウイングロード)購入、消防総務課に配備
	10 月 1 日	大島分遣所の勤務体制を二部制から三部制とし運用開始
平成 28 年 (2016)	11 月 13 日	宗像地区消防本部屋上高圧線修繕工事完了
	2 月 5 日	化学消防ポンプ自動車(日野SDG-GD7JGAA)購入、本署に配備
	2 月 12 日	水槽付消防ポンプ自動車を「カンボジアでの不正を許さぬ会」を通してカンボジア 王国:シアムクビル特別市へ寄贈
	3 月 30 日	福岡市消防局へ消防救急デジタル無線を接続完了
	3 月 30 日	株式会社木村組より高規格救急自動車(トヨタハイメディック災害対応型)1台が 寄贈される、本署に配備
	4 月 1 日	消防吏員9人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 15 日	平成28年熊本地震により緊急消防援助隊福岡県隊として熊本県益城町等へ 消防車3台延べ42人出動
	5 月 21 日	六代目組合長 谷井博美氏就任
	8 月 3 日	アナログ無線撤去工事
	10 月 13 日	宗像地区消防本部屋上及び2階ベランダ防水改修工事
平成 29 年 (2017)	11 月 7 日	はしご付消防ポンプ自動車 (MLLLAH5-30WG) 購入、本署に配備
	4 月 1 日	九代目消防長 灘辺 正信就任
	4 月 1 日	消防吏員7人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4 月 13 日	福岡県知事が消防通信指令事務の委託に関する規約の制定に伴う届出を受理
	6 月 27 日	査察車購入(スズキ エブリイ)、本部に配備
	7 月 1 日	むなかた・ふくつAEDステーション制度開始
	7 月 6 日	平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣 消火隊として車両2台、救助艇1艇、職員延べ107人を派遣

	8月	21日	宗像地区消防本部屋上防水改修工事
	8月	31日	大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結
	11月	30日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
	12月	6日	消防ポンプ自動車(CAFS)2台購入、本署及び赤間出張所に配備
	12月	14日	調査車購入、本署に配備
平成 30 年 (2018)	2月	6日	指揮自動車購入、本署に配備
	4月	1日	十代目消防長 永島 英親就任
	4月	1日	消防吏員8人採用、福岡県消防学校初任教育に入校
	4月	1日	機構改革を実施 1本部2署2出張所1分遣所体制とし、宗像消防署福岡分署を 福津消防署に、宗像消防署神湊出張所を福津消防署津屋崎・玄海出張所に改める
	5月	21日	七代目組合長 原崎智仁氏就任

組合の組織

宗像地区事務組合 組織図

(平成30年5月21日)



議員定数 16人
宗像市 8人
福津市 8人

議長

花村 公彦 (福津市議会議長)

副議長

花田 鷹人 (宗像市議会議長)

組合議員は、関係市の議会において、当該議会の議員のうちから選挙する。

議長及び副議長は、組合議員の互選により定める。

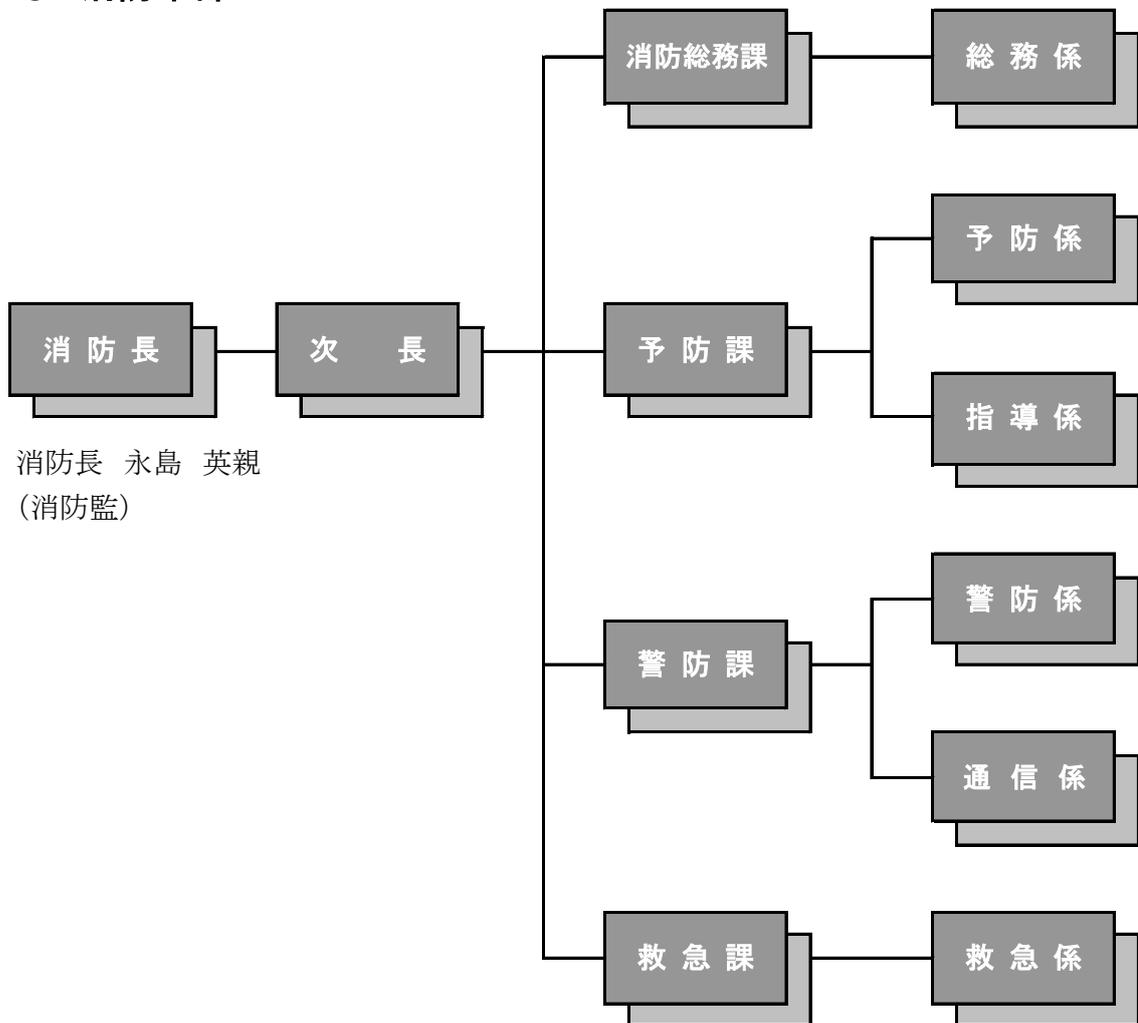
議員	井上 正文 (宗像市)	議員	福田 昭彦 (宗像市)
議員	西野 正行 (福津市)	議員	大久保三喜男 (福津市)
議員	岡本 陽子 (宗像市)	議員	末吉 孝 (宗像市)
議員	横山 良雄 (福津市)	議員	碓野九州男 (福津市)
議員	伊達 正信 (宗像市)	議員	石松 和敏 (宗像市)
議員	井上 聡 (福津市)	議員	永島 直行 (福津市)
議員	神谷 建一 (宗像市)	議員	花田 鷹人 (宗像市)
議員	永山 麗子 (福津市)	議員	花村 公彦 (福津市)

消防本部・消防署の組織

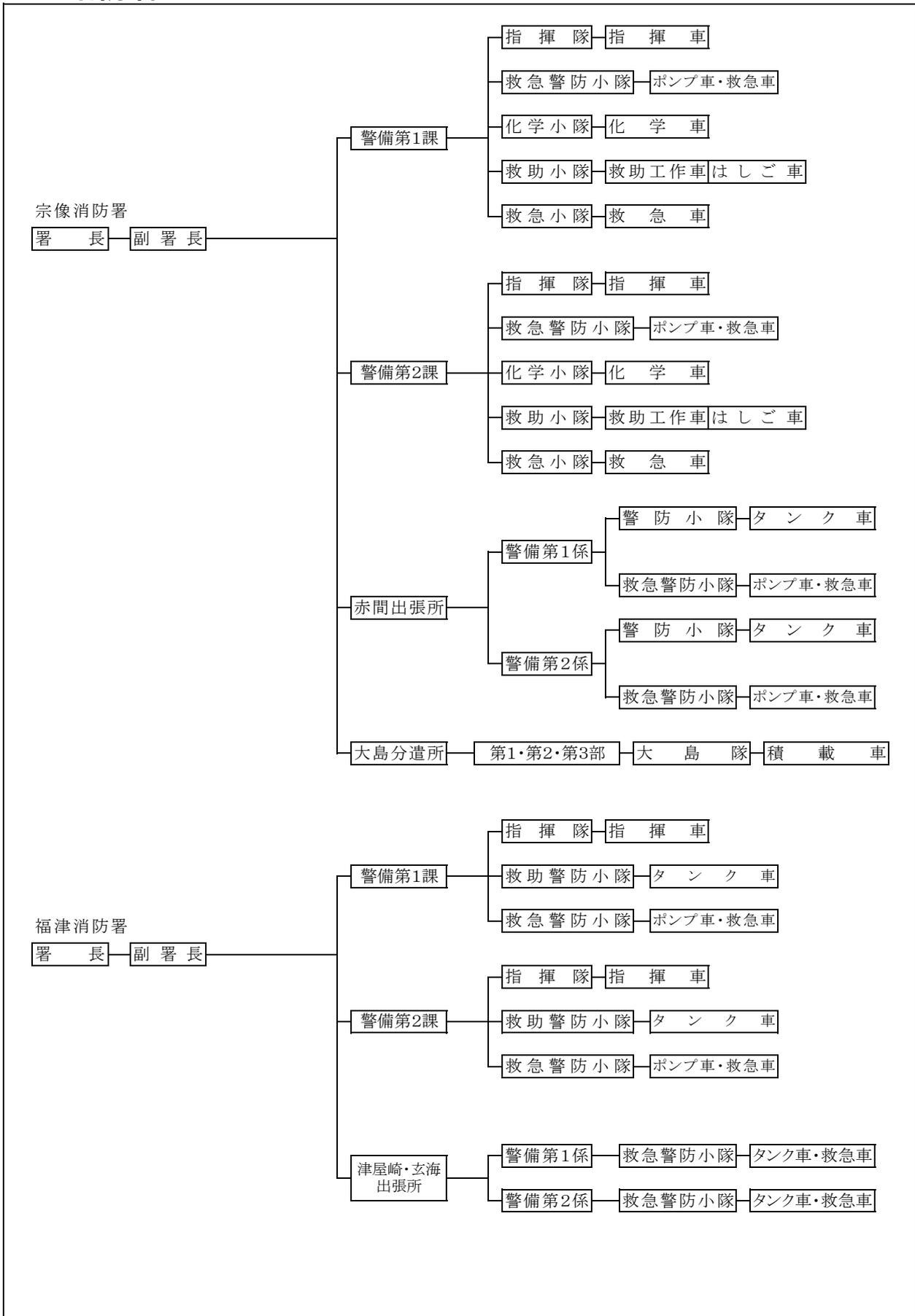
○ 歴代消防長

歴代	氏名	在任期間
初代	宗 實	S 49. 6. 1 ~ S 56. 12. 31
二代	山内 伸夫	S 57. 2. 15 ~ S 60. 3. 31
三代	坂本 守正	S 60. 4. 1 ~ H 6. 3. 31
四代	多賀 富男	H 6. 4. 1 ~ H 12. 3. 31
五代	吉武 秋生	H 12. 4. 1 ~ H 15. 3. 31
六代	木村 幸雄	H 15. 10. 1 ~ H 21. 3. 31
七代	乙藤 富雄	H 21. 4. 1 ~ H 23. 3. 31
八代	門脇 豊	H 23. 4. 1 ~ H 29. 3. 31
九代	灘辺 正信	H 29. 4. 1 ~ H 30. 3. 31
十代	永島 英親	H 30. 4. 1 ~

○ 消防本部



○消防署



消防本部の事務分掌

<p>消 防 総 務 課</p>	<p>総 務 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防本部の組織、制度及び職務権限に関すること。 (2) 消防職員の人事に関すること。 (3) 消防職員の給与、勤務時間、休日、休暇、福利厚生及び安全衛生等の労働条件管理に関すること。 (4) 秘書及び渉外に関すること。 (5) 消防事務の企画及び管理に関すること。 (6) 消防職員の教育訓練、研修及び監察に関すること。 (7) 公文書及び公印の管理に関すること。 (8) 消防史及び記録統計の編さんに関すること。 (9) 儀式及び交際に関すること。 (10) 消防年報の作成に関すること。 (11) 消防力の整備に関すること。 (12) 消防職員の任免、分限、服務、賞罰その他身分に関すること。 (13) 消防職員委員会に関すること。 (14) 消防機械器具及び消防施設の取得、管理及び処分に関すること。 (15) 消防長会に関すること(他の課の所管に係るものを除く)。 (16) 本部内の他の課の主管に属しないこと。
<p>予 防 課</p>	<p>予 防 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 危険物の規制に関すること。 (2) 危険物施設等の査察計画及び実施に関すること。 (3) 危険物施設の違反処理に関すること。 (4) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(昭和42年法律第149号) (5) 第36条第1項各号に規定する設置の許可又は第37条の2第1項に規定する変更の許可の意見書交付に関すること。 (6) 予防運動の計画及び調整に関すること。 (7) 防災協会の育成指導に関すること。 (8) その他危険物等の火災予防に関すること。 (9) その他予防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
<p>防 指 導 係</p>	<p>指 導 係</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 建築同意事務に関すること。 (2) 防火管理者に関すること。 (3) 防火思想の普及宣伝に関すること。 (4) 防火対象物等の査察計画及び実施に関すること。 (5) 防火対象物の違反処理に関すること。 (6) 消防用設備等の指導に関すること。 (7) 旅館、ホテルの意見書の交付に関すること。 (8) 防災処理の指導に関すること。 (9) 消防設備士会の育成指導に関すること。 (10) その他火災予防に関すること。

警 防 課	警 防 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防機械器具の整備及び管理に関すること。 (2) 車両等の燃料管理に関すること。 (3) 宗像地区連絡協議会に関すること。 (4) 消防相互応援に関すること。 (5) 緊急消防援助隊に関すること。 (6) 国民保護法に関すること。 (7) 各種訓練に関すること。 (8) その他警防課の他の係の所掌に属さない事務の処理に関すること。
	通 信 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防通信の業務に関すること。 (2) 消防通信施設の整備、保守管理及び計画に関すること。 (3) 気象観測及び記録に関すること。 (4) 通信統計及び通信情報に関すること。 (5) 火災警報に関すること。 (6) 庁内電話交換に関すること。 (7) 救急応需情報に関すること。 (8) 共同指令センターの運営に関すること。 (9) 消防情報支援システムの管理運営及びデータ管理に関すること。 (10) 福岡県防災・行政情報通信ネットワークに関すること。 (11) 緊急通報システムに関すること。 (12) 火災・災害等速報に関すること。 (13) その他通信業務に関すること。
	救 急 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急隊及び配置に関すること。 (2) 救急資器材の整備及び管理に関すること。 (3) 救急に関する行事の企画に関すること。 (4) 応急手当等の普及啓発に関すること。 (5) 患者等搬送事業者に対する指導及び認定に関すること。 (6) 救急病院等医療関係機関との連絡調整に関すること。 (7) 救急搬送証明に関すること。 (8) メディカルコントロールに関すること。 (9) その他救急業務に関すること。

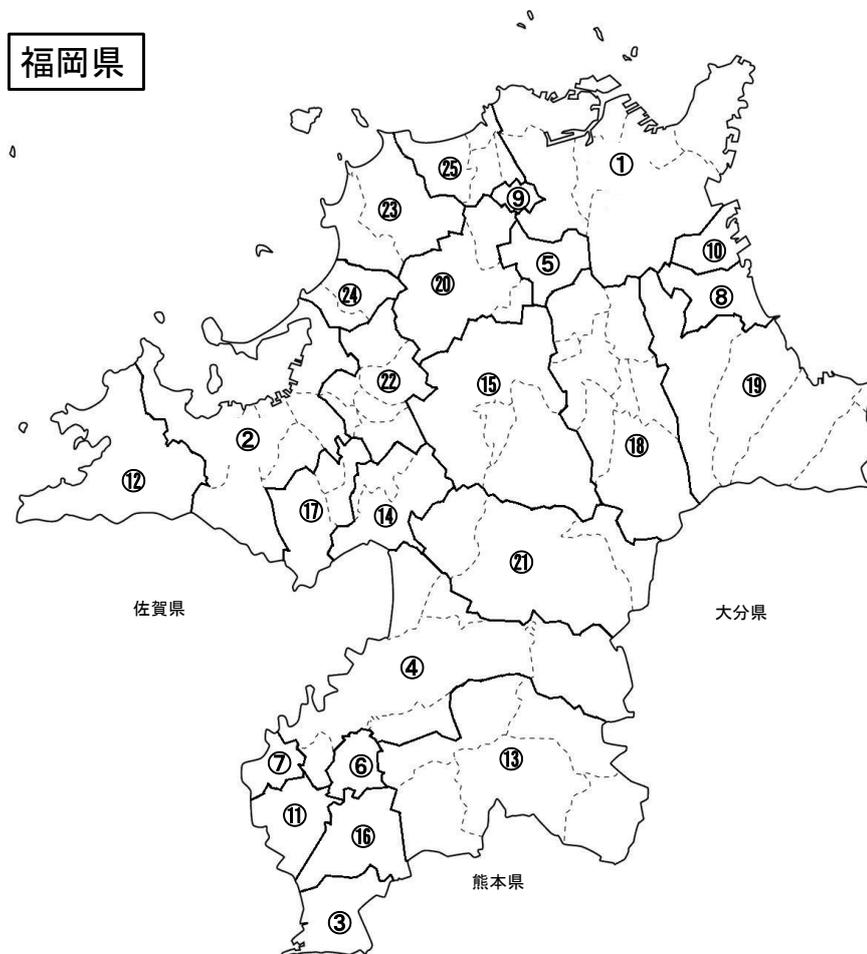
消防署の事務分掌

消 防 署	全 般	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防署の庶務に関する事。 (2) 文書收受及び整理保存に関する事。 (3) 公印の管理に関する事。 (4) 職員の勤務及び教養に関する事。 (5) 警備隊の配置及び運用に関する事。 (6) 災害の警戒及び防ぎよに関する事。 (7) 各種訓練に関する事。 (8) 災害、救急の調査及び報告並びに統計に関する事。 (9) 火災その他災害の原因及び損害の調査に関する事。 (10) 自主防災組織に関する事。 (11) 各種諸証明に関する事。 (12) 各種届出の処理に関する事。 (13) 備品の使用管理に関する事。 (14) 施設の整備保全及び運用に関する事。 (15) 消防署内事務の連絡調整に関する事。
	予 防 関 係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 消防法(昭和23年法律第186号)第10条に規定される危険物の仮貯蔵及び仮取扱いの承認に関する事。 (2) 危険物製造所等の完成検査、廃止、保安監督者選任(解任)届出、予防規程制定(変更)認可申請及び危険物変更届出に関する事。 (3) 少量危険物及び指定可燃物の規制に関する事。 (4) 液化石油ガス及び高圧ガスの保安指導に関する事。 (5) 危険物施設等及び防火対象物等の査察の実施に関する事。 (6) 建築物、工作物等の火災及び人命危険の予防措置に関する事。 (7) 防火管理者及び防災管理者に関する事。 (8) 防火思想の普及宣伝に関する事。 (9) 自衛消防隊の育成指導に関する事。 (10) 危険物施設等及び防火対象物等の違反処理に関する事。 (11) 消防用設備等の指導に関する事。 (12) 催物その他各種届出に関する事。 (13) 防災処理の指導に関する事。

宗像消防署	警防関係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救助業務及び潜水業務の実施に関する事。 (2) 消防水利の計画、調査及び保全に関する事。 (3) 機関員等の技術管理に関する事。 (4) 消防の警備計画に関する事。 (5) 消防団に関する事。
	救急関係	<ul style="list-style-type: none"> (1) 救急業務の計画及び実施に関する事。 (2) 応急手当等の普及啓発の実施に関する事。

協定名	締結年月日	協定市町村等	応援の内容
宗像市・福津市と隣接する市外町との消防相互応援協定	昭和52年10月1日	宗像市、福津市、岡垣町、宮若市、鞍手町	水火災その他の災害
福岡都市圏市町消防相互応援協定	昭和55年3月1日	福岡都市圏内の市町等 9市、8町 5消防組合	火災、救急救助事案その他の災害
遠賀・中間地域広域行政事務組合、直方鞍手広域市町村圏事務組合、宗像地区事務組合常備消防相互応援協定	平成19年4月1日	遠賀・中間地域広域行政事務組合 直方鞍手広域市町村圏事務組合 宗像地区事務組合	火災又は地震等の災害
福岡県消防相互応援協定	平成元年3月25日	福岡県内の全市町村等 60市町村 13消防組合	大規模災害等
高速自動車道における消防相互応援協定	昭和61年10月15日	福岡県内インター所在7市1町10消防組合	全ての災害

消防本部の管轄地域



- | | | | | |
|---------|--------|-----------|-------------|----------|
| 1 北九州市 | 6 筑後市 | 11 柳川市 | 16 みやま市 | 21 甘木・朝倉 |
| 2 福岡市 | 7 大川市 | 12 糸島市 | 17 春日大野城那珂川 | 22 粕屋南部 |
| 3 大牟田市 | 8 行橋市 | 13 八女 | 18 田川地区 | 23 宗像地区 |
| 4 久留米広域 | 9 中間市 | 14 筑紫野太宰府 | 19 京築広域 | 24 粕屋北部 |
| 5 直方市 | 10 苅田町 | 15 飯塚地区 | 20 直方鞍手広域 | 25 遠賀 |

消防本部の主なできごと

PLAY BACK

平成29年
4月

- 12日 **第40回福岡県消防職員意見発表会(北九州市)**
宗像地区消防本部を代表して「川合 克弥」消防士が出席。
- 13日 **消防吏員7人採用。**
(4月13日から9月28日までの間、消防職員初任教育前期に入校)

25～26日 **署内事務監査**
消防本部、各署所の事務監査を実施。

5月

- 10日 大島地区火災防ぎょ訓練(大島地区コミュニティセンター)
- 17日 **第1回危険物試験準備講習**

6月

危険物安全週間(6月4日～10日)

危険物安全週間は、平成2年消防庁により制定され、以来毎年6月の第2週(日曜日から土曜日までの1週間)に各種事業が実施されております。

- 1日 **嘉麻市産業廃棄物火災における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣**
消火隊として車両1台、職員延べ19人を派遣(6月1、3、5、7、9日)
- 6日 **人命救助表彰**
福津市渡で発生した水難事故に際し、人命救助活動を行った男性1名を表彰。
- 7日 大島患者ヘリ搬送訓練(大島漁港)
- 11日 **消防団・消防署合同水防訓練**
福津市日蒔野「集の駅」で福津市と合同の水害対応訓練を実施。
- 15・16日 **第1回防火管理者新規講習会**
学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。

7月

- 1日 **むなかた・ふくつAEDステーション制度開始**
広報紙「宗像地区事務組合だより」7月号発行～通巻32号
- 6日 **平成29年九州北部豪雨における福岡県消防相互応援協定に基づく派遣**
消火隊として車両2台、救助艇1艇、職員延べ107人を派遣(7月6日から8月2日まで)

8月

- 2日 **夏の課外授業inむなかた**
「めざせ未来の消防士」を実施。20組55人が参加した。
- 31日 **大規模災害発生時における燃料の優先供給に関する覚書締結**

9月

防災の日(9月1日)

- 11日 **宗像市中学生職場体験学習(日の里・河東・中央)**
～15日 宗像市の中学生15人を受け入れ、職場体験学習を実施。

救急の日(9月9日)

- 25日 **福津市中学生職場体験学習(福間・福間東・津屋崎中学校)**
～29日 福津市の中学生15人を受け入れ、職場体験学習を実施。
- 26日 **優先給油協力店に対する表示証交付式**
大規模災害発生時における燃料の優先給油協力店に対する表示証の交付式の実施

10月

- 15日 **宗像地区消防本部消防吏員採用試験**
- 19・20日 **第2回防火管理者新規講習会**
学校・店舗・事業所等多数の者が勤務し、居住する防火対象物の関係者を集めて、防火管理者の資格を付与するための講習会を実施。
- 25・26日 **署内事務監査**

11月	
1日	「コンビニエンスストアへのAED設置に係る基本協定」締結式
1日	広報紙「宗像地区事務組合だより」11月号発行～通巻33号 <u>119番の日(11月9日)</u> <u>秋季火災予防運動(9日～15日)</u>
1・2日	日の里西小学校職場体験学習 小学生4人を受け入れ、職場体験学習を実施。
9日	防火パレード(宗像地区消防本部・消防団) 「火の用心」の“のぼり”を掲げた消防車両で管内を防火パレードし、防火を呼びかけた。
11日	福津市一斉防災訓練(福津市全域)
12日	第41回消防ママさんバレーボール大会 管内の19チーム226人の選手の参加により、熱戦が繰り広げられ、後日、防火教室と防災講習会を実施した。
18日	宗像市火災防ぎょ訓練
28日	人命救助表彰 宗像市久原において発生した救急事案に際し、人命救助活動を行った男性1名を表彰。
30日	福岡都市圏消防通信指令業務共同運用開始
12月	
12日	人命救助表彰 宗像市大井台において発生した救急事案に際し、人命救助活動を行った男性1名を表彰。
25～1月5日	年末年始特別警戒
平成30年 1月	
4日	署内意見発表会
8日	平成30年消防出初式(サンリブくりえいと宗像) <u>防災とボランティア週間(1月15日～21日)</u> <u>防災とボランティアの日(1月17日)</u> 1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災に因んで制定された記念日。
14日	女学生を対象とした職場説明会(ワンデイ・インターンシップ)へ参加 <u>文化財防火デー(1月26日)</u> 1949年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺(奈良県斑鳩町)の金堂が炎上したことに因んで制定された記念日。
25日・26日	文化財防火デーに伴い管内の重要文化財の特別査察を実施。
26日	文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練を実施。(宗像大社) 宗像大社自衛消防隊、宗像市消防団、宗像市及び宗像消防署の計116人が参加し、宗像大社付近一帯で火災防ぎょ訓練を実施。
2月	
5日	防火ポスターコンクール 管内の小学4年生を対象に作品を募集。 優秀な作品を春季火災予防運動期間中、市内の公共施設などに展示し火災予防をPRした。
13日	人命救助表彰 宗像市大井台において発生した救急事案に際し、人命救助活動を行った男性1名を表彰。
16日	甲種防火管理再講習を実施 防災設備等の高度化への順応や消防法令の改正の把握など、知識、技能の更新が常に必要であるため、5年ごとに再講習が義務づけられている。
24日	福岡県消防長会県央地区会救助研修会 県央地区内6消防本部の救助隊による過去に発生した救助事案をもとに研修会を行った。
3月	<u>春季火災予防運動(3月1日～7日)</u>
1日	広報紙「宗像地区事務組合だより」3月号発行～通巻34号
4日	平成29年度 消防団・消防署合同林野火災防ぎょ訓練(宗像市多禮)
17日	火災予防普及啓発活動(イオンモール福津)
25日	見坂トンネル防ぎょ訓練を実施。

職員の階級別定員および実員

(平成30年4月1日現在)

区分	階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
定 員		1	9	12	129				151
実 員		1	8	2	20	49	4	52	136
	(うち女性職員)							6	6

※再任用職員(短時間勤務職員)は含まない。

職員の階級別任用、退職状況

(平成29年度)

区分	階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
採 用								7	7
昇 任		1	1	1	5	12	4		24
退 職		1	1		1	1	1		5

職員の配置状況

(平成30年4月1日現在)

階 級		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
消 防 本 部	消 防 長	1							1
	次 長		1						1
	消 防 総 務 課		1		2	7		10	20
	予 防 課		1		2	2			5
	警 防 課		1		1	4	1		7
	救 急 課		(1)		1	1			2(1)
	小 計	1	4(1)		6	14	1	10	36(1)
宗 像 消 防 署	宗 像 消 防 署		2	1	6	14		24	47
	福 津 消 防 署		2	1	4	8	1	9	25
	赤 間 出 張 所				2	9	1	6	18
	津 屋 崎 ・ 玄 海 出 張 所				1	3	1	3	8
	大 島 分 遣 所				1	1			2
	小 計		4	2	14	35	3	42	100
合 計		1	8(1)	2	20	49	4	52	136(1)

※()は兼務

職員の階級別年齢

(平成30年4月1日現在)

階級 年齢	消 防 吏 員							計	(人)									
	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		・	2	・	4	・	6	・	8	・	10
18							1	1	*									
19							4	4	****									
20							3	3	***									
21							3	3	***									
22							3	3	***									
23							5	5	*****									
24							4	4	****									
25							4	4	****									
26							2	2	**									
27							4	4	****									
28							2	2	**									
29							4	4	****									
30						1	1	3	5	*****								
31						2	1	3	6	*****								
32						1			1	*								
33						3	1		4	****								
34						2	3		5	*****								
35						2	2	1	5	*****								
36																		
37						4			4	****								
38				1	3				4	****								
39				2	1				3	***								
40					1				1	*								
41					4				4	****								
42					1				1	*								
43				1	6				7	*****								
44				4	5				9	*****								
45			1	1	5				7	*****								
46		1		2					3	***								
47				4	2				6	*****								
48			1		1				2	**								
49				1	1				2	**								
50		1		1					2	**								
51		1		1					2	**								
52		1		1					2	**								
53		2					1		3	***								
54																		
55		2			1	1			4	****								
56	1			1					2	**								
57																		
58																		
59					3				3	***								
60																		
計	1	8	2	20	49	10	46	136										
平均 歳月	56.0	51.5	48.1	45.5	41.6	37.5	25.5	38.1										

職員の階級別勤続年数

(平成30年4月1日現在)

階級 年数	階級							計	年数		
	消防 監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防 士		0	10	20
0							8	8	*****		
1							7	7	*****		
2							9	9	*****		
3							2	2	**		
4							1	1	*		
5							3	3	***		
6							3	3	***		
7							7	7	*****		
8					1		3	4	****		
9					1		3	4	****		
10						6		6	*****		
11					3	1		4	****		
12					1	1		2	**		
13					7			7	*****		
14					2			2	**		
15				3	2			5	*****		
16					3			3	***		
17					2			2	**		
18											
19											
20											
21					4			4	****		
22				1	2			3	***		
23			1	1	2			4	****		
24				1	6			7	*****		
25				2	2			4	****		
26			1	4	4			9	*****		
27					3			3	***		
28		1		4				5	*****		
29		2		1		2		5	*****		
30											
31						2		2	**		
32		1		1				2	**		
33											
34		2		1				3	***		
35											
36											
37	1	2		1	1			5	*****		
38					2			2	**		
39											
40					1			1	*		
41											
計	1	8	2	20	49	10	46	136			
平均	37.0	32.0	24.0	25.0	20.0	14.0	3.0	15.2			

職員の資格(講習)取得状況

(平成30年3月31日現在)

種別	階級	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
		福岡県消防学校						
	特殊災害科		3	2				5
	予防科(予防査察科)	2		3	3			8
	危険物科	1	1	3	2	1	1	9
	火災調査科	1		5	3			9
	救急科・救急Ⅱ(標準)課程	5	6	14	50	5	38	118
	救急Ⅰ課程							
	救助科			2	6		1	9
	初級幹部科A		2	3	8			13
	初級幹部科B	3	3	3				9
	中級幹部科	2						2
	上級幹部科	1						1
	水難救助教育						4	4
	消防操法指導員研修	4	2	4	2			12
	はしご自動車等教育	1	3	6	8			18
	警防科	1	2	2	2			7
	警防実務研修				2	3	4	9
	陸上特殊無線技士Ⅱ・Ⅲ	6	6	16	28	5	7	68
福岡県市町村	階級(一般係長別課長研修他)	4	4	8	12	4	3	35
	選択研修	4	5	8	14		2	33
その他	指導的救命士		1	1				2
	救急救命士	1	2	2	17	1	9	32
	中型自動車免許				6	3	12	21
	大型自動車免許	6	6	13	33	2	5	65
	小型船舶	3	4	10	27		2	46
	潜水士	2	5	8	31	1	6	53
	危険物取扱者	1	1	6	15	4	27	54
	衛生管理者	2	1	1	1			5
	小型移動式クレーン運転技能			2	17	2	11	32
	予防技術資格認定者(防火査察)	3	2	8	14	4	4	35
	予防技術資格認定者(消防用設備等)	1	2	7	9	4		23
	予防技術資格認定者(危険物)		1		3		2	6

職員の研修状況

(平成29年度)

種 別		階 級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
福 岡 県 消 防 学 校	初 任 教 育								7	7
	特 殊 災 害 科				1					1
	予 防 査 察 科						1			1
	救 急 科								5	5
	救 助 科								1	1
	初 級 幹 部 科 (A)						1			1
	初 級 幹 部 科 (B)					1				1
	中 級 幹 部 科									
	警 防 実 務 研 修								1	1
救 急 救 命 士 養 成 研 修									1	1
救 急 救 命 士 就 業 前 病 院 実 習									1	1
救 急 救 命 士 気 管 挿 管 病 院 実 習								1		1
救 急 救 命 士 病 院 実 習 (再 教 育)					2	16		1	5	24
福 岡 県 市 町 村 職 員 研 修 所	新 任 係 長 研 修				1					1
	新 任 課 長 研 修		1							1
	クレーン対応研修(組織対応)			1						1
	クレーン対応研修(窓口)						1			1
	法制執務基礎研修						1			1
	対人関係能力向上研修						1			1
	リーダーシップ能力向上研修						1			1
消 防 実 務 講 習 会										
福 岡 県 救 急 医 学 会 救 急 隊 員 部 会			1	1	1	3	1	3		10
日 本 救 急 臨 床 医 学 会										
消 防 職 員 安 全 衛 生 研 修 会					1					1

消防大学の教育状況

平成30年3月31日現在

種 別		階 級			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
平成29年度	警 防 科						1					1
累	総合教育	幹 部 科		3	1							4
	専科教育	警 防 科		1		2						3
		予 防 科				1						1
		救 急 科		1								1
		救 助 科										
		火 災 調 査 科			1	1	1					3
計	火 災 調 査 講 習 会											
	はしご自動車等講習会				1	2		1				4
	違 反 是 正 講 習 会											
	合 計			1	6	5	3	1				16

職員の表彰受賞状況

平成30年3月31日現在

区 分		階 級			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
平成 29 年度	消 防 庁 長 官 功 労 章											
	消 防 庁 長 官 永 年 勤 続 功 労 章			1								1
	全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 表 彰											
	全 国 消 防 協 会 優 良 消 防 職 員 表 彰											
	福 岡 県 知 事 人 命 救 助 功 労 表 彰											
	福 岡 県 知 事 永 年 勤 続 表 彰						4	5				9
累 計	消 防 庁 長 官 功 労 章											
	消 防 庁 長 官 永 年 勤 続 功 労 章			1								1
	全 国 消 防 長 会 永 年 勤 続 表 彰			1	6	5	14	33	2			61
	全 国 消 防 協 会 優 良 消 防 職 員 表 彰				1							1
	福 岡 県 知 事 人 命 救 助 功 労 表 彰											
	福 岡 県 知 事 永 年 勤 続 表 彰			1	6	4	13	15	2			41
合 計 (延 べ 人 員)					3	13	9	27	48	4		104

訓練・指導等の実施状況

(平成29年度)

市別	種別	救急講習	ポンプ操 法指導	規律・小隊 訓練等指導	防火・避難 訓練指導	署所見学	計
	回数						
合計	回数	85		34	197	29	345
	延人数	2,445		2,007	16,688	1,869	23,009

職員の教養実施状況

(平成29年度)

教育科目	教養内容	延時間	受講者階級別延人員				
			消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
実務研修教養	初任教育を修了した職員に対する教養	256				71	71
機関員教養	機関員の教養及び現任の機関員に対する教養	648				64	64
服務教養	現任職員に対するその職務についての教養	671	289	1,929	435	2,301	4,954
合計	計	1575	289	1,929	435	2,436	5,089

消防力の状況

常備消防の状況

(平成30年4月1日現在)

区 分			車 両 等			人 員			
			算 定 数	現 有 台 数	不 足 数	算 定 数 a	現 有 人 員 b	不足数	充足率 (%)
								対 算 定 a-b	対 算 定 b/a
警 防 要 員	消 防 隊 員	指 揮 車	2	2		20	98	45	68.5
		消 防 ポンプ自動車	6	6		78			
		化 学 消 防 車	1	1		16			
		は し ご 自 動 車	1	1		乗換運用			
		小 型 動 力 ポンプ付 積 載 車	1	1		3			
	救 急 隊 員	救 急 自 動 車	6	5	1	10			
	救 助 隊 員	救 助 工 作 車	2	1	1	16			
小 計			19	17	2	143	98	45	68.5
本 部 要 員	専 任 の 予 防 要 員		/			16	5	※毎日勤務者のみ	
	通 信 員		/			4	4	/	
	庶 務 の 処 理 等 の 人 員		/			17	29		
	小 計			/			37		
合 計						180	136	44	75.6

面積・人口および世帯数に対する常備消防力

(平成30年4月1日現在)

区 分	消 防 職 員 一 人 当 たり	消 防 ポ ン プ 自 動 車 一 台 当 たり	救 急 自 動 車 一 台 当 たり
人 口 (160,572人)	1,181 人	22,939 人	32,114 人
世 帯 数 (68,764世帯)	506 世帯	9,823 世帯	13,753 世帯
面 積 (172.67Km ²)	1.27 km ²	24.67 km ²	34.53 km ²

※ 消 防 職 員 136 人
 消 防 ポ ン プ 車 7 台 (化学車含む)
 救 急 車 5 台

消防団の現況

(平成30年4月1日現在)

動 力 消 防 ポ ン プ 算 定 数				動 力 消 防 ポ ン プ 整 備 数	
消 防 ポ ン プ 車 数 (台)		手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)		消 防 ポ ン プ 車 数 (台)	手 引 ・ 小 型 動 力 ポ ン プ 数 (口)
国	市 町 村	国	市 町 村	28	14
5	28	12	35		

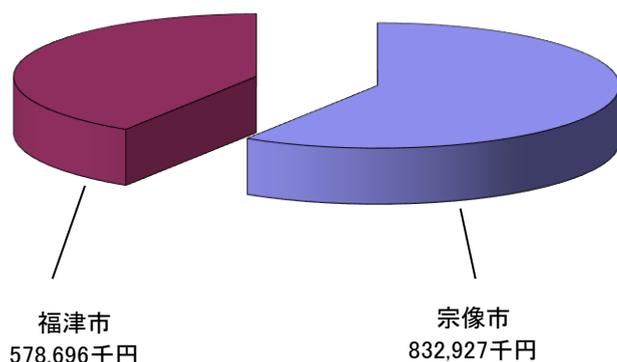
財政の状況

平成29年度決算における構成市消防負担金（単位：千円）
1,411,623千円

（構成市の負担金）

地方交付税法により算定される構成市の当該年度の基準財政需要額のうち消防費の算定方法に準じて算定した額で、常備消防費に相当する額

宗像市 59.0%
福津市 41.0%



過去3年間における消防負担金状況

（単位：千円）

		27年度決算	28年度決算	29年度決算
消防費基準財政需要額(A)		1,967,015	2,000,756	2,003,389
消防負担金	宗像市	762,945	800,528	832,927
	福津市	523,259	561,277	578,696
	合計(B)	1,286,204	1,361,805	1,411,623
消防費基準財政需要額に占める消防負担金割合(B/A)		65.4%	68.1%	70.5%

※（参考）単位費用 11,300円 11,300円 11,300円

平成30年度宗像地区事務組合一般会計当初予算

歳入

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 分担金及び負担金	1. 負担金	1,697,327
	内 消防負担金	1,502,624
2. 使用料及び手数料	1. 使用料	1,920
	2. 手数料	502
3. 国庫支出金	1. 国庫補助	13,200
4. 財産収入	1. 財産運用収入	164
5. 繰越金	1. 繰越金	43,500
6. 諸収入	1. 預金利子	1
	2. 雑入	100,292
7. 組合債	1. 組合債	152,600
歳入合計		2,009,506

歳出

(単位：千円)

款	項	当初予算額
1. 議会費	1. 議会費	1,785
2. 総務費	1. 総務管理費	42,405
	2. 監査委員費	661
3. 衛生費	1. 保健衛生費	23,577
	2. 清掃費	139,843
4. 消防費	1. 消防費	1,642,529
5. 公債費	1. 公債費	151,306
6. 予備費	1. 予備費	7,400
歳出合計		2,009,506

平成28年度消防費決算額と一般会計決算額との比較

(単位：千円)

	一般会計決算額	消防費決算額	比較 消防費／一般
宗像市	35,911,567	1,115,472	3.1%
福津市	20,794,667	651,841	3.1%
合計	56,706,234	1,767,313	3.1%

平成28年度消防費決算と消防費基準財政需要額

(単位：千円)

区分 市別	消防費基準 財政需要額 (調整後) (A)	決算額			基準財政需要額に 占める決算額の割合 (B/A)
		常備消防費 負担金	非常 消防 費	計(B)	
宗像市	1,176,131	800,528	132,708	933,236	79.3%
福津市	824,625	561,277	151,784	713,061	86.5%
合計	2,000,756	1,361,805	284,492	1,646,297	82.3%

※ 基準財政需要額＝消防単位費用 × 測定単位(人口) × 補正係数

人口一人当たりの消防費 10,252 円

一世帯当たりの消防費 23,941 円

※ 人口 160,572 人

世帯数 68,764 世帯

(平成30年3月31日現在)



防火対象物の現状

(平成30年3月31日現在)

用途		市 別	宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等		1	1	2
	ロ 公会堂・集会場等		81	53	134
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等		4	1	5
	ハ 性風俗関連店舗等				
	ニ カラオケボックス等		1		1
(3)	イ 待合・料理店等		1		1
	ロ 飲食店等		64	32	96
(4)	百貨店・マーケット等		117	76	193
(5)	イ 旅館・ホテル等		46	6	52
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		799	468	1,267
(6)	イ 病院・診療所等		63	43	106
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等		31	27	58
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等		62	39	101
	ニ 幼稚園・特別支援学校		10	9	19
(7)	小学校・中学校等		96	36	132
(8)	図書館・博物館等		4	2	6
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等		1		1
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等		2	2	4
(11)	神社・寺院等		78	36	114
(12)	イ 工場・作業場等		161	93	254
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		21	14	35
	ロ 飛行機等の格納庫		1		1
(14)	倉庫		131	97	228
(15)	前各項以外の事業場		324	177	501
(16)	イ 複合用途対象物(特定)		219	142	361
	ロ イ以外の複合用途(非特定)		122	96	218
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等		3		3
(18)	50m以上のアーケード				
(19)	指定山林				
(20)	総務省令で定める舟車				
合 計			2,443	1,450	3,893

消防用設備等の設置状況

(平成30年3月31日現在)

消防用設備等 用途		消火設備				警報設備			避難設備		連結 送水管	非常 コンセント 設備
		屋内 消火栓 設備	屋外 消火栓 設備	スプリン クラー 設備	水噴霧 消火設 備等	自動火 災報知 設備	漏電火 災警報 器	非常警 報設 備	避難 器具	誘導 灯		
(1)	イ 劇場・映画館等					1		2		1		
	ロ 公会堂・集会場等	7		1	1	36	2	30	10	48		
(2)	イ キャバレー・カフェー等											
	ロ 遊技場・ダンスホール等	1		1	1	5		4	1	5	1	
	ハ 性風俗関連店舗等											
	ニ カラオケボックス等					1			1	1		
(3)	イ 待合・料理店等									1		
	ロ 飲食店等	1				28	4	33	8	50		
(4)	百貨店・マーケット等	21	1	10	9	97		37	4	108		
(5)	イ 旅館・ホテル等	6		1		49	10	8	19	44	2	1
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	37		12	23	246	19	93	179	28	114	45
(6)	イ 病院・診療所等	8		13	1	65	3	16	19	89		
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等			60		60	1	4	19	56	1	
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	7		1	1	63	1	7	17	47		
	ニ 幼稚園・特別支援学校					17	2	3	4	13		
(7)	小学校・中学校等	82				121		36	10	13	2	
(8)	図書館・博物館等	2			1	4		1		2		
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1		1		1		
	ロ イ以外の公衆浴場等											
(10)	車両の停車場等					3						
(11)	神社・寺院等	2				8	4	21	2	5		
(12)	イ 工場・作業場等	17	1		4	76		1	2	9	1	
	ロ 映画・テレビスタジオ等											
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場				8	6				2		
	ロ 飛行機等の格納庫				1	1				1		
(14)	倉庫	8				47				2		
(15)	前各項以外の事業場	21			3	70		57	8	40	1	
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	8		23	8	130	2	53	32	126	9	1
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	2			3	21		21	7	13	3	
(16の2)	地下街											
(16の3)	準地下街											
(17)	重要文化財等					3						
合 計		231	2	122	64	1,159	48	428	342	705	134	47

防火管理者を必要とする事業所の状況

(平成30年3月31日現在)

用途		市 別		宗 像 市		福 津 市		計	
		甲	乙	甲	乙	甲	乙		
(1)	イ 劇場・映画館等								
	ロ 公会堂・集会場等	24	54	17	34	41	88		
(2)	イ キャバレー・カフェー等								
	ロ 遊技場・ダンスホール等	4		1		5			
	ハ 性風俗関連店舗等								
	ニ カラオケボックス等	1				1			
(3)	イ 待合・料理店等		1						1
	ロ 飲食店等	18	27	9	15	27	42		
(4)	百貨店・マーケット等	52	8	29	4	81	12		
(5)	イ 旅館・ホテル等	19	1	6	1	25	2		
	ロ 寄宿舎・共同住宅等	153		93		246			
(6)	イ 病院・診療所等	15		13		28			
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	23		24		47			
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	22	2	17	7	39	9		
	ニ 幼稚園・特別支援学校	6		5		11			
(7)	小学校・中学校等	25		13		38			
(8)	図書館・博物館等	1		1		2			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1				1			
	ロ イ以外の公衆浴場等								
(10)	車両の停車場等								
(11)	神社・寺院等	14	2	8	4	22	6		
(12)	イ 工場・作業場等	8		4		12			
	ロ 映画・テレビスタジオ等								
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場								
	ロ 飛行機等の格納庫								
(14)	倉庫			1		1			
(15)	前各項以外の事業場	31	15	17	13	48	28		
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	109	18	65	10	174	28		
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	20	3	16		36	3		
合 計		546	131	339	88	885	219		

防火対象物の予防査察状況

(平成29年度)

市 別 用 途		査 察 対 象 物 数	査 察 数		
			宗 像 市	福 津 市	計
(1)	イ 劇場・映画館等				
	ロ 公会堂・集会場等	16	7	3	10
(2)	イ キャバレー・カフェー等				
	ロ 遊技場・ダンスホール等	4		1	1
	ハ 性風俗関連店舗等				
(3)	ニ カラオケボックス等				
	イ 待合・料理店等				
	ロ 飲食店等				
(4)	百貨店・マーケット等	51	20	12	32
(5)	イ 旅館・ホテル等	50	30	6	36
	ロ 寄宿舍・共同住宅等		1		1
(6)	イ 病院・診療所等	25	17	14	31
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	52	28	23	51
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	32	4	9	13
	ニ 幼稚園・特別支援学校	7	3	1	4
(7)	小学校・中学校等	2	29		29
(8)	図書館・博物館等		2		2
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等	1			
	ロ イ以外の公衆浴場等				
(10)	車両の停車場等				
(11)	神社・寺院等		6		6
(12)	イ 工場・作業場等	1	2		2
	ロ 映画・テレビスタジオ等				
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		1	1	2
	ロ 飛行機等の格納庫				
(14)	倉庫	2	4	3	7
(15)	前各項以外の事業場		9	2	11
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	73	35	18	53
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	1	2	1	3
(16の2)	地下街				
(16の3)	準地下街				
(17)	重要文化財等	2	3		3
合 計		319	203	94	297

建築同意事務処理状況

(平成29年度)

用 途		市 別		計
		宗 像 市	福 津 市	
(1)	イ 劇場・映画館等			
	ロ 公会堂・集会場等	2	6	8
(2)	イ キャバレー・カフェー等			
	ロ 遊技場・ダンスホール等			
	ハ 性風俗関連店舗等			
	ニ カラオケボックス等			
(3)	イ 待合・料理店等			
	ロ 飲食店等	4		4
(4)	百貨店・マーケット等	9	5	14
(5)	イ 旅館・ホテル等		2	2
	ロ 寄宿舍・共同住宅等	13	20	33
(6)	イ 病院・診療所等	3	1	4
	ロ グループホーム・有料老人ホーム等	2	2	4
	ハ デイサービス・軽費老人ホーム等	9	10	19
	ニ 幼稚園・特別支援学校			
(7)	小学校・中学校等	1	5	6
(8)	図書館・博物館等			
(9)	イ 蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ イ以外の公衆浴場等			
(10)	車両の停車場等	1		1
(11)	神社・寺院等	3		3
(12)	イ 工場・作業場等	3	4	7
	ロ 映画・テレビスタジオ等			
(13)	イ 自動車車庫又は駐車場		1	1
	ロ 飛行機等の格納庫			
(14)	倉庫	1	4	5
(15)	前各項以外の事業場	19	13	32
(16)	イ 複合用途対象物(特定)	4	7	11
	ロ イ以外の複合用途(非特定)	6		6
(16の2)	地下街			
(16の3)	準地下街			
(17)	重要文化財等			
	令 別 表 外	44	55	99
合 計		124	135	259

中高層建築物（5階以上）の現状

（平成30年3月31日現在）

市別	階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
宗 像 市		94	31	24	14	7	7	9	4	4	5	2	201
福 津 市		23	9	8	5	4	11	9	10	1	3		83
合 計		117	40	32	19	11	18	18	14	5	8	2	284

用途	階別	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	計
(1) イ 劇場・映画館等													
□ 公会堂・集会場等		1											1
(2) イ キャバレー等													
□ 遊技場等				1									1
ハ 性風俗関連店舗等													
ニ カラオケボックス等													
(3) イ 待合・料理店等													
□ 飲食店等													
(4) 百貨店・店舗等		1											1
(5) イ 旅館・ホテル等		2	1				1			1			5
□ 寄宿舎・共同住宅等		100	22	21	13	9	14	17	14	4	7	2	223
(6) イ 病院・診療所等		1											1
□ グループホーム・有料老人ホーム等			1			1							2
ハ デイサービス・軽費老人ホーム等			1										1
ニ 幼稚園・特別支援学校													
(7) 小学校・中学校等		2	1										3
(8) 図書館・博物館等													
(9) イ 蒸気・熱気浴場等													
□ イ以外の公衆浴場等													
(10) 車両の停車場等													
(11) 神社・寺院等													
(12) イ 工場・作業場等		1											1
□ 映画・スタジオ等													
(13) イ 自動車車庫又は駐車場													
□ 飛行機等の格納庫													
(14) 倉庫													
(15) 前各項以外の事業場		1		1	1								3
(16) イ 複合用途対象物		4	12	5	5		1	1					28
□ イ以外の複合用途(非特定)		4	2	4		1	2				1		14
(17) 重要文化財等													
合 計		117	40	32	19	11	18	18	14	5	8	2	284

工事整備対象設備等着工届事務処理状況

(平成29年度)

区 分	市 別		計
	宗 像 市	福 津 市	
屋内消火栓設備	3	2	5
スプリンクラー設備	5	3	8
泡消火設備		1	1
粉末消火設備		1	1
屋外消火栓設備			
自動火災報知設備	43	24	67
消防機関へ通報する火災報知設備	23	12	35
避難器具	1	3	4
パッケージ型消火設備	3	4	7
合 計	78	50	128

法令に基づく届出処理状況

(平成29年度)

区 分	市 別		計
	宗 像 市	福 津 市	
防火管理者選任・解任届出	139	151	290
消防計画の届出	146	153	299
防火対象物使用開始届出	88	70	158
変電設備設置届出	6	9	15
発電設備設置届出	6	2	8
蓄電池設備設置届出	4	1	5
ネオン管設備設置届出			
催物開催届出		3	3
ボイラー設置届出	3		3
圧縮アセチレン等の貯蔵又は取扱いの開始届出	22	6	28
少量危険物設置届出	11	5	16
水素ガスを充てんする気球設置届出			
合 計	425	400	825

危険物施設の現況

(平成30年3月31日現在)

製造所等の区分		市別		計
		宗像市	福津市	
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	6	3	9
	危険物屋外貯蔵所	2	2	4
	危険物屋内タンク貯蔵所	2	2	4
	危険物屋外タンク貯蔵所	10	4	14
	危険物地下タンク貯蔵所	29	20	49
	危険物簡易タンク貯蔵所		1	1
	危険物移動タンク貯蔵所	22	2	24
取扱所	危険物給油取扱所	39	15	54
	危険物一般取扱所	12	6	18
	危険物販売取扱所	1		1
合計		123	55	178

危険物施設立入検査実施状況

(平成29年度)

製造所等の区分		市別		計
		宗像市	福津市	
貯蔵所	危険物屋内貯蔵所	1	3	4
	危険物屋外貯蔵所	1	2	3
	危険物屋内タンク貯蔵所		1	1
	危険物屋外タンク貯蔵所	6	1	7
	危険物地下タンク貯蔵所	17	12	29
	危険物簡易タンク貯蔵所			
	危険物移動タンク貯蔵所	20	1	21
取扱所	危険物給油取扱所	33	13	46
	危険物一般取扱所	6	2	8
	危険物販売取扱所	1		1
合計		85	35	120

危険物規制事務処理状況

(平成29年度)

事務別		市 別		計	
		宗 像 市	福 津 市		
許 可 ・ 認 可	小 計		23	26	49
	設 置	許 可	1	1	2
		完 成	1	2	3
	変 更	許 可	8	8	16
		完 成	7	5	12
	仮 使 用		5	9	14
	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱			1	1
	予 防 規 程		1		1
	前 完 成 検 査 検 査	水 張			
		水 圧			
届 出	小 計		44	21	65
	変 更		21	11	32
	種 類 数 量 変 更				
	譲 渡 ・ 引 渡				
	廃 止		5	1	6
	使 用 休 止 再 開				
	保 安 監 督 者 選 解 任		15	9	24
	事 故 発 生		3		3
	許 可 証 等 再 交 付				
	申 請 取 り 下 げ				

宗像地区防災協会

防災体制の強化推進及び会員相互の融和と協調をはかり、災害の防止に努め、もって事業所の健全な発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

平成29年度 会長 島田 博隆
 副会長 葦津 幹之
 副会長 高島 亮一
 副会長 原口 幸聖
 会員数142事業所
 (平成30年3月31日現在)

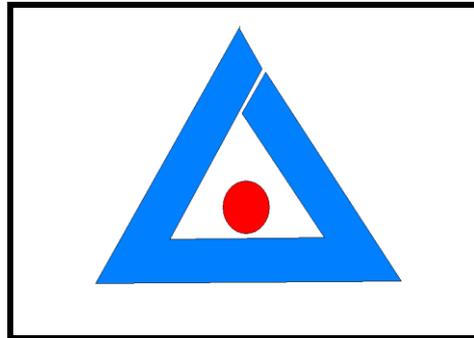
防災協会の組織

宿泊施設部会

塗料販売部会

LPガス販売部会

石油販売部会



赤い円は、太陽・火災等を意味し、災害を防ぐように「ム」の字が回りを囲んでいる。
 また、円を中心よりわずか下方へずらすことによって人の頭を意味し「ム」は災害をシャットアウトしようとする「手」を意味する。

工場部会

病院等部会

大型店舗部会

事業所部会

特別会員部会



危険物取扱者試験受験準備講習会
 (5月、9月、1月)

3月



火災予防啓発活動

防災協会の主な活動

- 定例総会(6月)
- 会報「防災むなかた」発刊(8月、1月)
- 会員研修会(5月、11月)
- 幼年消防クラブへの防火ハッピー贈呈(3月)
- 火災予防運動期間中の火災予防啓発活動
 防火横断幕の掲示、防火チラシ配布
 (11月・3月)



定例総会



会員研修会
 (5月、11月)

6月



幼年消防クラブへの
 防火ハッピーの贈呈

宗像地区幼少年婦人防火委員会

防災防火意識の高揚を図り、防火知識の普及に努めるため、民間の防火組織として地域に密着した幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ、あるいは地域の自主防災組織の運営指導について、研究及び助言するとともにクラブの健全な育成発展に寄与することを目的とする。

幼 年 消 防 ク ラ ブ

幼稚園、保育園の園児で結成され、正しい火の取り扱い方などについて、園独自の指導計画を立て、自主的に活動するとともに防災行事に積極的に参加しています。

少 年 消 防 ク ラ ブ

少年のころから学校や家庭における火災予防に関する知識を身につけさせるために結成され、防火夜回り等の防災行事に積極的に参加し、活発な活動を行っています。



少年消防クラブ員章

婦 人 防 火 ク ラ ブ

防災は「わが家から」を合言葉に、家庭の主婦で結成され、防火教室や救命講習会を開催し、家庭や地域の災害予防に積極的に活躍しています。

11月



第41回消防ママさんバレーボール大会



少年消防クラブ防火夜回り

11月

29年度の主な行事

- 第41回消防ママさんバレーボール大会(11月)
- 少年消防クラブ防火夜回り(11月)
- 少年消防クラブ防火書道
- 福津市女性防火クラブ役員研修会「防災講話」(2月)
- 火災予防運動期間中に防火ハッピー着用(11月・3月)

3月



幼年消防クラブ
防火ハッピー着用



福津市女性防火クラブ
役員研修会

2月



少年消防クラブ防火書道

防火団体構成表

(平成30年4月1日現在)

区分	市別	名称	設立年月日	クラブ員数	
婦人	宗像地区	宗像地区婦人防火クラブ	S63.11.27	217	
	福津市	福津市女性防火クラブ	H19. 5. 1	132	
	小計			349	
少年	宗像地区	岬地区少年消防クラブ	S59. 4.22	43	
	小計			43	
幼年	宗像市	博多のびっこ幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	288	
		日の里幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.20	215	
		赤間くるみ幼稚園幼年消防クラブ	S61.10.30	210	
		浄徳寺幼稚園幼年消防クラブ	S63.10. 1	263	
		東海大学付属自由ヶ丘幼稚園幼年消防クラブ	S63.10. 1	219	
	福津市	白菊幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	383	
		聖愛幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.14	206	
		光明幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.15	183	
		神興幼稚園幼年消防クラブ	S59.11.21	79	
		若木台幼稚園幼年消防クラブ	S61.11.12	228	
		孝明保育園幼年消防クラブ	H 2. 1.10	50	
		津屋崎保育園幼年消防クラブ	H 2. 1.11	135	
		大和保育所幼年消防クラブ	H 2. 2. 5	143	
		真愛保育園幼年消防クラブ	H 2. 6. 1	104	
		双葉保育所幼年消防クラブ	H25. 4. 1	152	
		ひがしふくま真愛保育園幼年消防クラブ	H 3. 9.20	73	
		いろどり真愛保育園幼年消防クラブ	H23. 4. 1	170	
		こうみょうの丘幼年消防クラブ	H28. 4. 1	135	
		小計			3,236
		合計			3,628

現有車両の諸性能

(平成30年4月1日現在)

区分 車名	車種	型式	ポンプ形式	級式	無線局	登録年月日	備考
タンク1	水槽付消防ポンプ自動車	日野 BDG-GD7JGWA改	日本機械 R-3	A2	有	H23.2.22	緊援隊 水 2,000ℓ(Ⅱ型)
ポンプ2	消防ポンプ自動車	日野 KK-XZU331M	日本機械 R-3	A2	有	H14.1.25	(CD-Ⅰ型)
タンク3	水槽付消防ポンプ自動車	日野 KC-FDIJGBA	日本機械 R-3	A2	有	H9.10.28	水 1,300ℓ(Ⅰ-A型)
ポンプ4	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク5	水槽付消防ポンプ自動車	日野 KK-FDIJGDA改	モリタ ME-5	A2	有	H14.12.16	水 1,500ℓ(Ⅰ-A型)
ポンプ6	消防ポンプ自動車	日野 TPG-XZU640M	モリタ MZI	A2	有	H29.12.4	圧縮空気泡消火装置搭載型 水600ℓ(CD-Ⅰ型)
タンク7	水槽付消防ポンプ自動車	いすゞ PB-FRS35G3J改	モリタ ME-5	A2	有	H18.12.13	災害対応型、緊援隊 4WD 水 1,500ℓ(Ⅰ-A型)
ポンプ8	小型動力ポンプ付積載車	ダイハツ EBD-S331W	トーハツ VF53AS	B3	有	H26.12.22	4WD
ポンプ9	消防ポンプ自動車	三菱 KC-FE538B改	モリタ ME-3A	A2	有	H7.12.6	(CD-Ⅰ型)
化学1	化学消防ポンプ自動車	日野 SDG-GD7JGAA改	モリタ ME-5	A2	有	H28.1.15	水 1,500ℓ 薬液 500ℓ(Ⅱ型)
梯子1	はしご付消防ポンプ自動車	日野 QDG-PRIAPEF			有	H28.10.21	30m 屈折梯子付
救助1	救助工作車	日野 KK-GDIJGDA改			有	H12.8.18	(Ⅱ型)
救急1	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H28.3.17	災害対応型 4WD
救急2	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.12.10	災害対応型 4WD
救急3	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H26.1.23	災害対応型、緊援隊 動態情報システム、4WD
救急4	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H24.9.21	災害対応型 4WD
救急5	高規格救急自動車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H21.12.4	災害対応型 4WD
指令1	指令車	トヨタ GF-ST215G			有	H12.10.13	4WD
指揮1	指揮車	トヨタ CBF-TRH226S			有	H30.2.2	ストレッチャー式指揮機 4WD
乗用車	乗用車	トヨタ E-JZS131			無	H7.4.24	
査察車	査察車	スズキ HBD-DA17V			無	H29.6.23	4WD
輸送1	人員輸送車	トヨタ SDG-XZB50			有	H25.2.21	乗車定員29人、緊援隊
支援1	支援車	ニッサン DBA-NT31			有	H26.2.24	4WD
支援2	支援車	トヨタ CBF-TRH200V			無	H29.12.5	
搬送1	資機材搬送車	トヨタ KK-XZU362			有	H15.8.29	4WD
事務連絡車	事務連絡車	ニッサン DBA-Y12			無	H27.8.26	
軽1	事務連絡車	三菱 GD-H42V			無	H11.5.17	
軽2	事務連絡車	ダイハツ GF-L700S			無	H12.10.22	

いろいろな消防ポンプ自動車

圧縮空気泡消火装置搭載型 消防ポンプ自動車



圧縮空気を利用し泡を生成する装置及び水600ℓを積載しており、少量の水で効率の良い泡消火を行います。

化学消防ポンプ自動車



主に油脂火災の消火活動を目的にした消防車で、1,500ℓの水と500ℓの泡消火薬剤を積載しています。

はしご付消防ポンプ自動車



主に高所での消防活動を容易にするための車両で、火災時等ビルの高層階に取り残された人の救出や高所からの放水活動等を行います。(30m屈折梯子付き)

指揮自動車



ストレッチャー式指揮機、ノートパソコン、プリンターなど、数多くの資機材を積載しており、迅速で効率の良い指揮活動が可能となります。

救 助 工 作 車



火災救急等各種の災害現場で救助活動を目的にした消防車で、空気呼吸器やレスキューカッター・照明装置など各種救助資機材を積載しています。

消防車両等の配置状況

(平成30年4月1日)

区分	本部・署所別	本 部	宗 像 署	赤間出張所	福 津 署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
消 防 ポ ン プ 自 動 車			2	1	1			4
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1	1	1	1		4
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1					1
は し ご 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車			1					1
救 助 工 作 車			1					1
高 規 格 救 急 自 動 車			2	1	1	1		5
指 令 車					1			1
指 揮 車			1					1
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車							1	1
乗 用 車		1						1
査 察 車		1						1
事 務 連 絡 車		3						3
人 員 輸 送 車		1						1
支 援 車		2						2
資 機 材 搬 送 車		1						1
合 計		9	9	3	4	2	1	28

いろいろな救助資機材

空気呼吸器



各種災害現場で、煙、有毒ガス、酸素欠乏環境から消防隊員を保護する「空気呼吸器」は、消防活動に欠かすことのできない重要な資機材です。

大型油圧式救助器具



油圧ポンプと高圧ホースを用いて、各種アタッチメントに接続することで、持ち上げ、広げ、押さえつけ、引っ張り、締めつけ、切断の操作ができ、交通事故などの人命救助活動に使用します。

マット型空気ジャッキ



空気ポンプ、ホース、マット等を用いて、重量物の持ち上げや変形したドアの開放などに使用します。

酸素溶断器



アルミニウム、真ちゅう、ステンレスなどの各種金属や、スラブを素早く溶解切断することができる万能型の切断器具です。

救命索発射銃



高所、水面などの孤立した場所へロープを展張したり、溺れている人に対して着水後に膨張浮上する救命用浮環を投入するためのもので、救命索のついた発射体を発射する特殊な銃です。

熱画像直視装置



物体表面から自然放射されている赤外線をも、画像としてモニター上に表示するもので、暗闇や濃い煙の中にとり残された人を発見したり、火元や残り火を確認する装置です。

救助資機材の配置状況

(平成30年4月1日現在)

区分	署所別	宗像署	赤間出張所	福津署	津屋崎・玄海出張所	大島分遣所	合計
		一般救助器具	三連はしご	3		1	
	救命索発射銃	1					1
重量物排除用器具	可搬ウインチ	2					2
	マット型空気ジャッキ	1		1			2
	大型油圧スプレッダー	1		1			2
切断用器具	エンジンカッター	2		1			3
	酸素溶断機	1					1
	チェーンソー	3	1	1	1	1	7
	空気鋸	1		1			2
	大型油圧切断機	1		1			2
検知・測定用器具	可燃性ガス測定器	2	1	1	1	1	6
	有毒ガス測定器	2					2
	放射線測定器	2					2
呼吸保護用器具	空気呼吸器	22	5	6	3	1	37
	送排風機	1					1
破壊用器具	削岩機	2					2
検索用器具	熱画像直視装置	1					1
水難救助用器具	潜水用具一式	10					10
	水中テレビカメラ	1					1

消防水利の現況

(平成30年4月1日現在)

水利区分 市別	消火栓	防 火 水 槽				合 計
		小 計	100t以上	60t以上100t未満	40t以上60t未満	
宗 像 市	941	443	28	149	266	1,384
福 津 市	760	273	9	180	84	1,033
計	1,701	716	37	329	350	2,417

いろいろな救急資器材

酸素吸入器



低酸素状態の傷病者等に対して酸素を与えることができます。

電動吸引器



傷病者の口腔内または鼻腔内の嘔吐物や血液などを吸引することができます。

気道確保器具



救急救命士が、心肺機能停止状態の傷病者に対して、医師の具体的指示を受けて使用する気道確保器具で、口から肺までの空気の通り道を確認することができます。

監視モニター(患者監視装置)



傷病者の心電図や心拍数、血圧、血液中の酸素飽和濃度を測定し、傷病者の状態を継続的に観察することができます。

脊椎固定具



交通事故などにより、脊椎損傷の可能性がある傷病者に対して、全身を固定することにより脊椎の動揺を防ぐことができます。

自動体外式除細動器(AED)



高性能の心電図自動解析装置を内蔵しており、心臓が停止状態の傷病者に対して、効果的な電気ショックを与えることができます。

救急資器材の配置状況

(平成30年4月1日現在)

区分	署所別	宗 像 署	福 津 署	赤間出張所	津屋崎・ 玄海出張所	合 計
外 傷 バ ッ グ		2	1	1	1	5
手 動 式 人 工 呼 吸 器		4	1	1	1	7
人 工 呼 吸 器		2	1	1	1	5
減 圧 式 固 定 具		2	1	1	1	5
C P R ボ ー ド		2	1	1	1	5
はさみ(レスキューシーザー)		2	1	1	1	5
喉 頭 鏡・マギール鉗子		4	1	1	1	7
自 動 式 心 肺 蘇 生 器		1	1	1	1	4
頸椎固定具(ファernoケット)		2	1	1	1	5
頸椎固定具(ヘッドイモビライザー)		4	1	1	1	7
異物除去具(スロートイーバッグ)		1	1	1	1	4
電 動 吸 引 器 一 式		2	1	1	1	5
ド ア オ ー プ ナ ー		2	1	1	1	5
聴 診 器		1	1	1	1	4
ウ イ ン ド ポ ン チ		2	1	1	1	5
ポ ル ト ク リ ッ パ ー		2	1	1	1	5
患 者 監 視 装 置		2	1	1	1	5
携 帯 用 心 電 図			1	1	1	3
シ ョ ッ ク パ ン ツ		2	1	1	1	5
血 圧 計(携帯用アナロイド)		2	1	1	1	5
在 宅 療 法 資 器 材 標 準 セ ッ ト		2	1	1	1	5
レ ス キ ュ ー セ ッ ト		2	1	1	1	5
輸 液 ポ ン プ			1	1	1	3
AED(自動体外式除細動器)		2	1	1	1	5
バ ッ ク ボ ー ド 一 式		2	1	1	1	5
携 帯 用 酸 素 飽 和 度 測 定 器		2	1	1	1	5
ス ク ー プ ス ト レ ッ チ ャ ー		2	1	1	1	5
カ ー デ ィ オ ポ ン プ		2	1	1	1	5

平成29年中の火災概況

1 出火件数

平成29年中の出火件数は47件であり、前年に比べ13件増加している。

火災種別ごとの件数をみると、「建物火災」が22件と最も多く、出火件数の46.8%を占め、「その他の火災」20件（42.6%）、「車両火災」5件（10.6%）となっている。

これらの出火件数を前年と比べると、「建物火災」が同件数で、「その他の火災」が12件増加、車両火災が2件増加、船舶火災が1件減少となっている。

2 火災の損害・死傷者の状況

平成29年中の建物焼損棟数は32棟で、前年に比べ3棟増加している。焼損床面積については、1,190平方メートルで、前年に比べ255平方メートル増加している。また、焼損表面積は1平方メートルで、前年に比べ154平方メートル減少している。

平成29年中の火災による損害額は、116,583千円で、前年に比べ63,311千円増加している。

平成29年中の火災による死傷者数は、死者については1人、負傷者については5人で、それぞれ前年と同数である。

3 出火原因

平成29年中の出火件数47件のうち、出火原因については、「不明・調査中」10件を除くと、「たき火」が12件（25.5%）で最も多く、「電気機器」及び「電灯・電話等の配線」が3件（6.4%）で上位を占めている。

「たき火」が原因による火災は前年と比べ9件増加し、前年の原因別出火件数の上位に入っていた「たばこ」は4件減少し1件となっている。

4 住宅用火災警報器

平成18年6月に新築住宅、平成21年6月から既存住宅にも住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、宗像地区での設置率は80.5%（平成29年5月現在）となっている。

平成23年から平成29年までの住宅用火災警報器の奏功事例は15件で、一定の効果をあげており、設置から10年以上経過している場合は住宅用火災警報器の交換を推奨し、日常の点検のしかたについても広報を行っている。

火災の状況

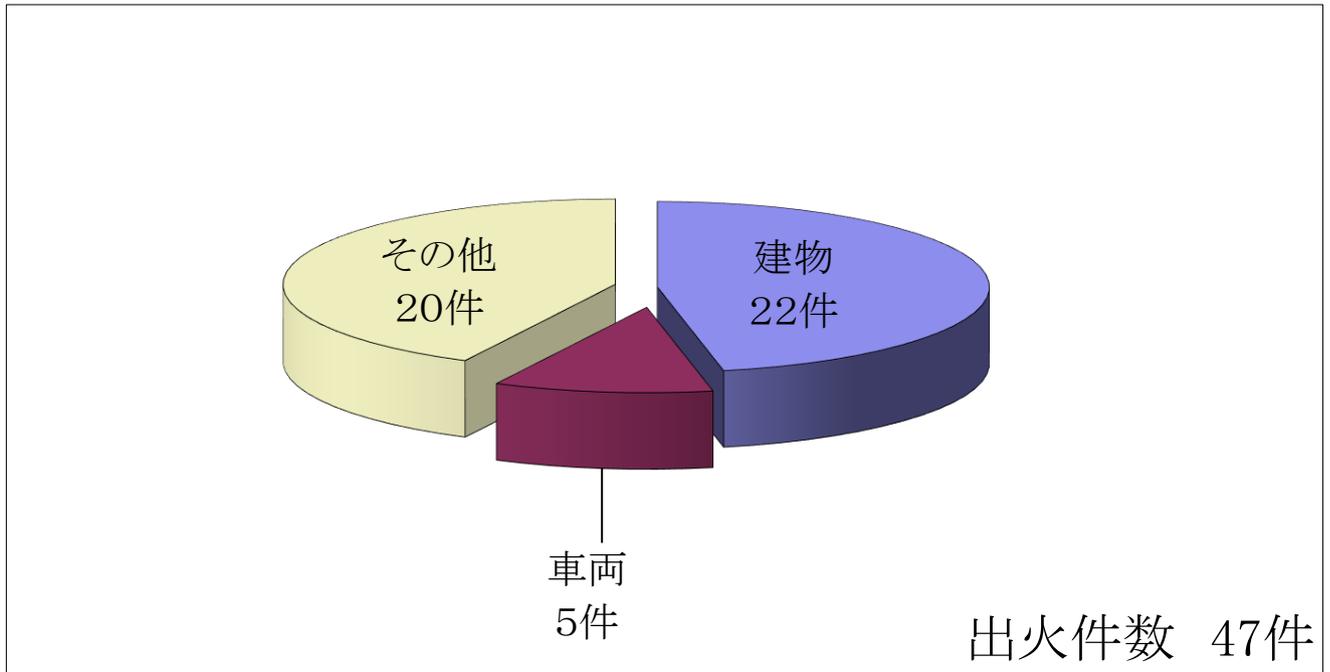
(過去2年間)

区 分		平成29年	平成28年	対前年比	
出 火 件 数	件	47	34	13	
	建物火災	22	22		
	林野火災				
	車両火災	5	3	2	
	船舶火災		1	△1	
	航空機火災				
	その他の火災	20	8	12	
焼 損 棟 数	棟	32	29	3	
	全 焼	15	5	10	
	半 焼	4	4		
	部 分 焼	2	8	△6	
	ぼ や	11	12	△1	
焼損床面積(建物)	m ²	1,190	935	255	
焼損表面積(建物)	m ²	1	155	△154	
焼損面積(林野)	a				
死 者 数	人	1	1		
負 傷 者 数	人	5	5		
り 災 世 帯 数	世帯	16	13	3	
	全 損	7	3	4	
	半 損	2	1	1	
	小 損	7	9	△2	
り 災 人 員 数	人	40	26	14	
損 害 額	千円	116,583	53,272	63,311	
	建物火災	千円	111,832	49,687	62,145
	林野火災	千円			
	車両火災	千円	2,408	626	1,782
	船舶火災	千円		2,128	△2,128
	航空機火災	千円			
	その他の火災	千円	2,343	831	1,512
全火災1件当り損害額	千円	2,480	1,567	913	
建物火災 1件当り	損害額	千円	5,083	2,259	2,824
	建物焼損面積	m ²	54.1	42.5	11.6
	焼損棟数	棟	1.5	1.3	0.2
	り災世帯	世帯	0.7	0.6	0.1
	り災人員	人	1.8	1.2	0.6
出 火 率	件	2.93	2.14	0.79	
人 口	人	160,366	158,559	1,807	

(注) 出火率は、人口1万人当りの出火件数(人口は平成29年12月31日現在の住民基本台帳による)

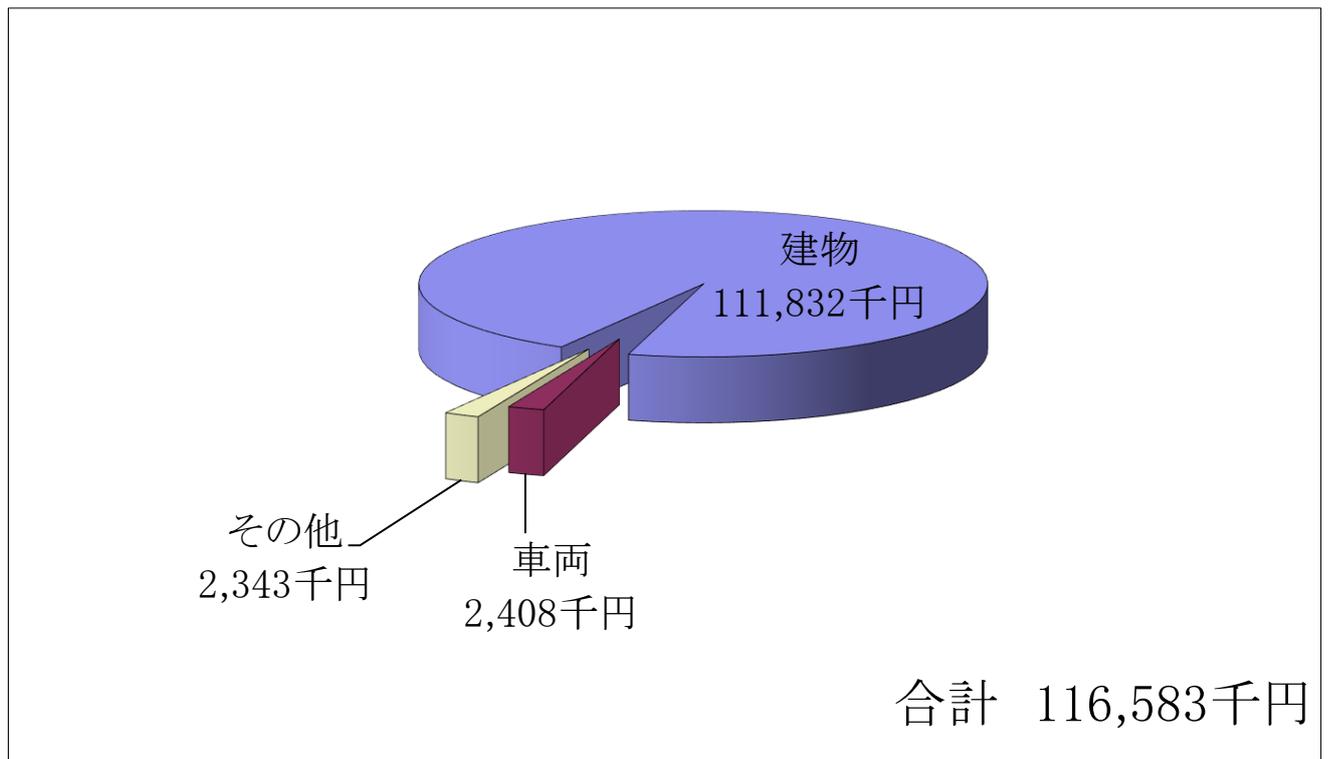
火災種別件数

(平成29年中)



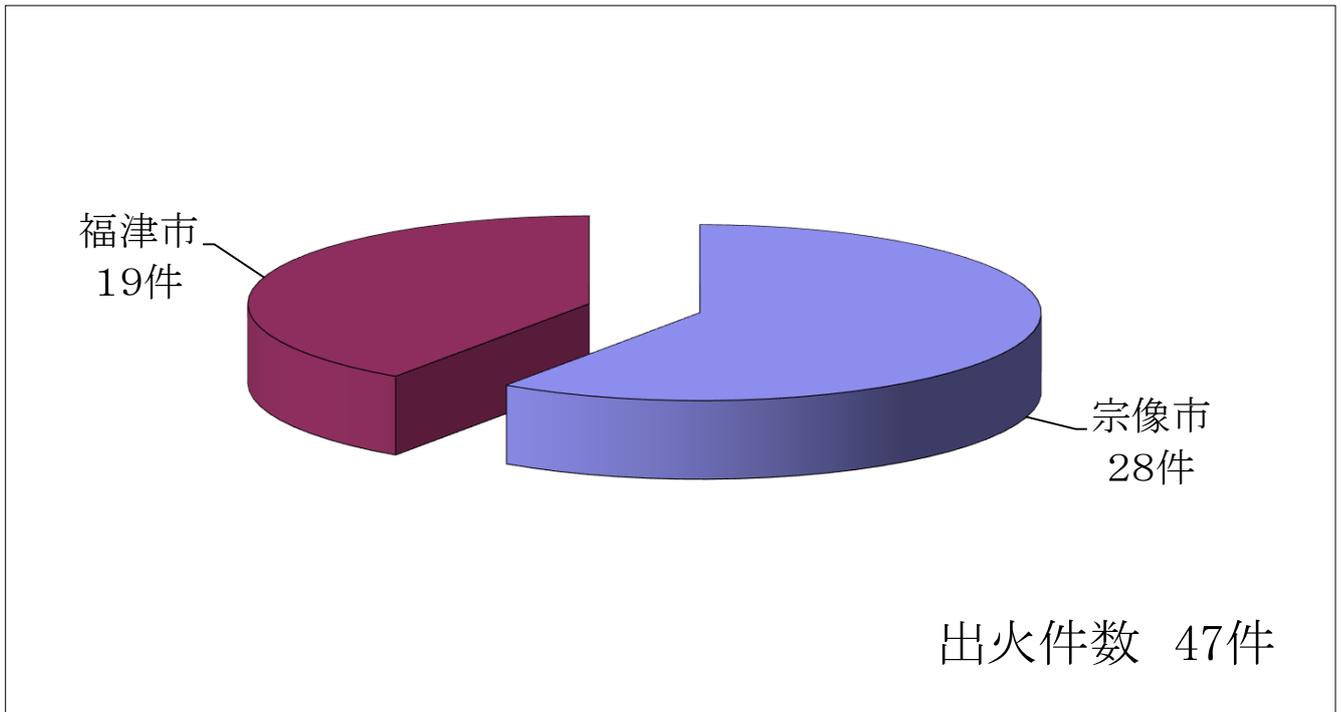
火災種別損害額

(平成29年中)



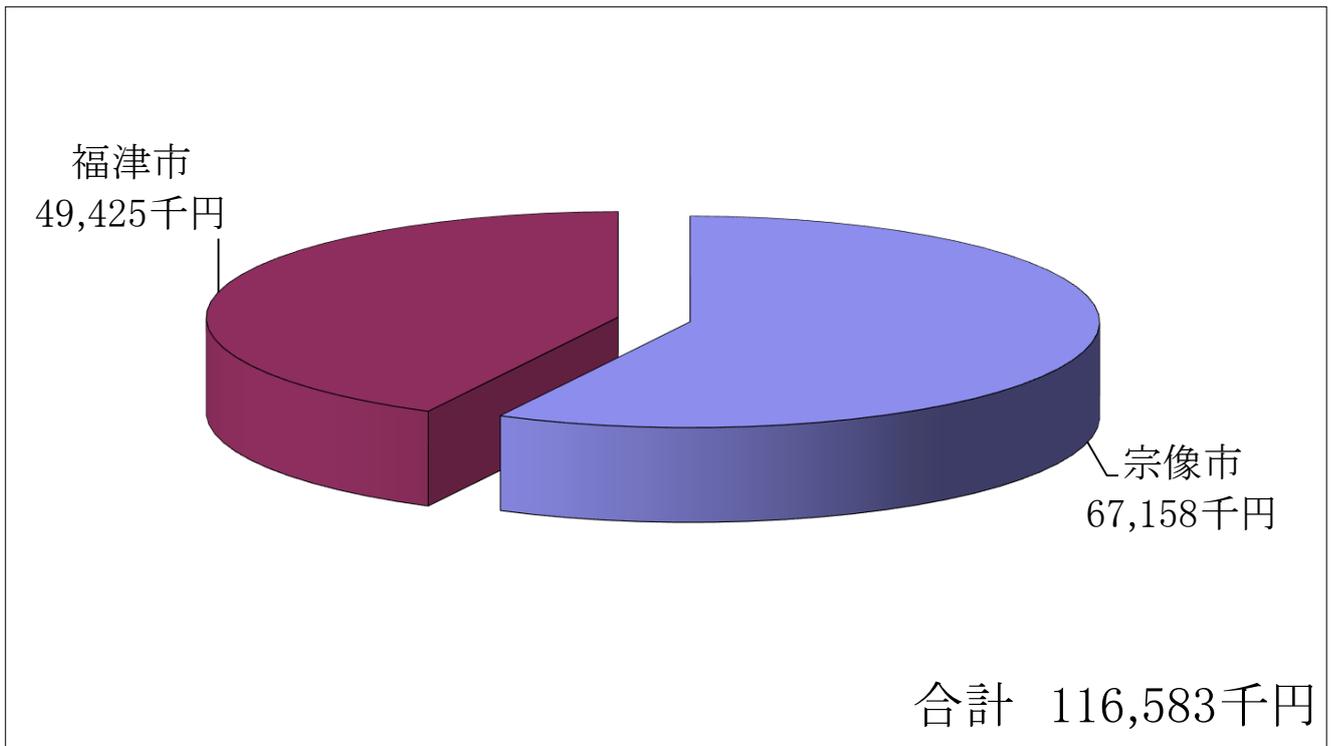
市別出火件数

(平成29年中)



市別損害額

(平成29年中)



宗像市内の火災状況

(平成29年中)

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		出火件数	件	2	5	1	4	5		3	1	1	3	2
建物火災	件	2	4		1	1		1			2	1	1	13
林野火災	件													
車両火災	件		1		1						1			3
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			1	2	4		2	1	1		1		12
焼損棟数	棟	4	5		3	2		1			2	1	1	19
全焼	棟	1	3		1	1							1	7
半焼	棟	1				1						1		3
部分焼	棟	1	1											2
ぼや	棟	1	1		2			1			2			7
焼損床面積(建物)	m ²	57	472		15	15		1				54	124	738
焼損表面積(建物)	m ²							1						1
焼損面積(林野)	a													
死者数	人		1											1
建物火災	人		1											1
建物火災以外	人													
負傷者数	人		1					1					2	4
建物火災	人		1										2	3
建物火災以外	人							1						1
損害額	千円	4,782	46,280		177	391		28			1,334	9	14,157	67,158
建物火災	千円	4,782	45,506		135	391		28			70		14,157	65,069
林野火災	千円													
車両火災	千円		774		40						1,264			2,078
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円				2							9		11
り災世帯数	世帯	2	5		1						2	1	1	12
全損	世帯	1	3									1	1	6
半損	世帯	1												1
小損	世帯		2		1						2			5
り災人員	人	4	15		2						4	2	2	29

福津市内の火災状況

警防・救急

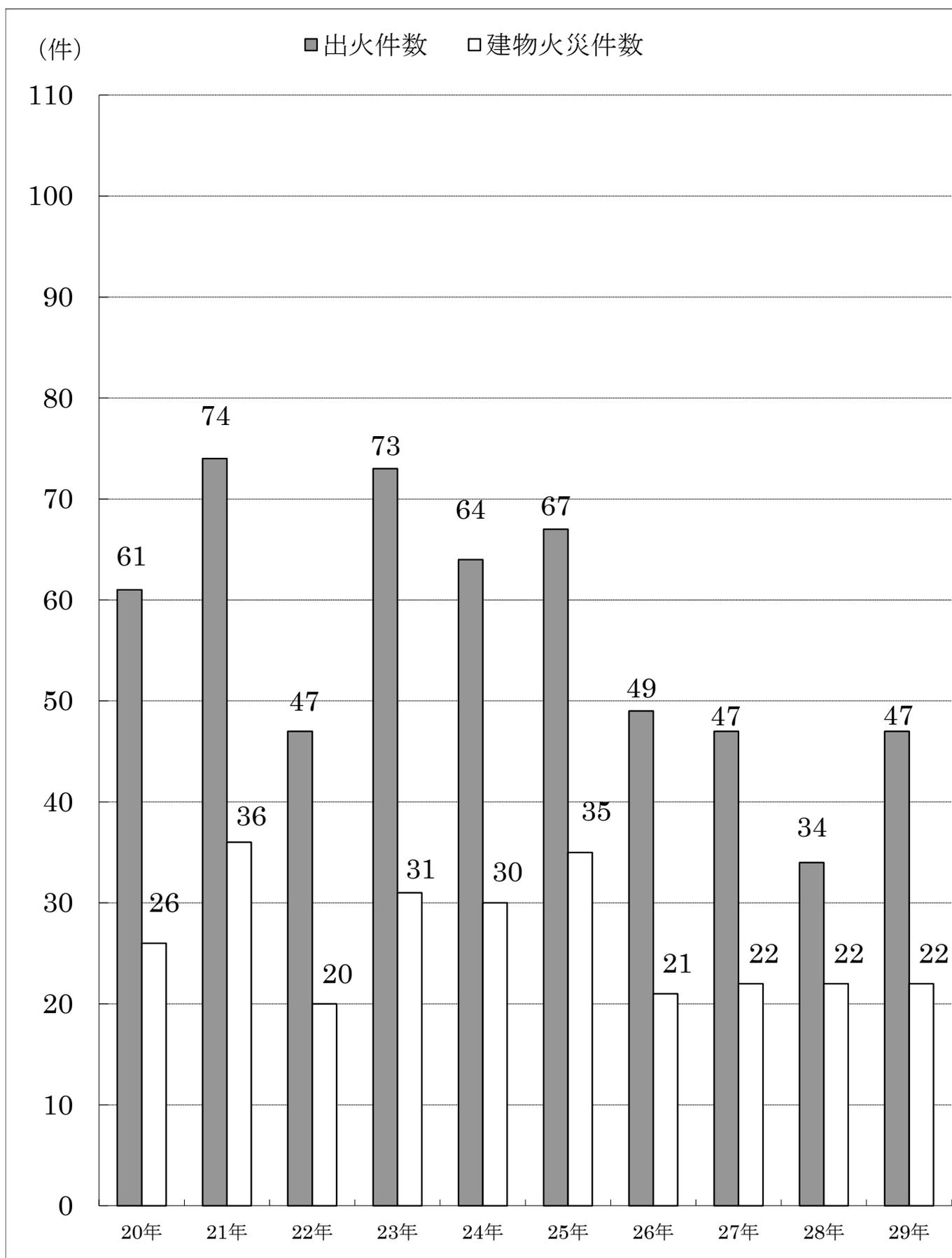
(平成29年中)

区分	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
		出火件数	件	1	1	3	2	1	2		1	3	1	1
建物火災	件		1	2	2	1				1		1	1	9
林野火災	件													
車両火災	件	1											1	2
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			1			2		1	2	1		1	8
焼損棟数	棟		1	2	4	3				1		1	1	13
全焼	棟				4	3						1		8
半焼	棟			1										1
部分焼	棟													
ぼや	棟		1	1						1			1	4
焼損床面積(建物)	m ²			35	265	51						101		452
焼損表面積(建物)	m ²													
焼損面積(林野)	a													
死者数	人													
建物火災	人													
建物火災以外	人													
負傷者数	人				1									1
建物火災	人				1									1
建物火災以外	人													
損害額	千円	130	16	9,722	33,602	5,671				84			200	49,425
建物火災	千円		16	9,722	33,602	3,395				28				46,763
林野火災	千円													
車両火災	千円	130											200	330
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円					2,276				56				2,332
り災世帯数	世帯			1						1		1	1	4
全損	世帯											1		1
半損	世帯			1										1
小損	世帯									1			1	2
り災人員	人			4						5		1	1	11

月別出火件数及び損害状況

(平成29年中)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出火件数	件	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47
建物火災	件	2	5	2	3	2		1		1	2	2	2	22
林野火災	件													
車両火災	件	1	1		1						1		1	5
船舶火災	件													
航空機火災	件													
その他の火災	件			2	2	4	2	2	2	3	1	1	1	20
焼損棟数	棟	4	6	2	7	5		1		1	2	2	2	32
全焼	棟	1	3		5	4						1	1	15
半焼	棟	1		1		1						1		4
部分焼	棟	1	1											2
ぼや	棟	1	2	1	2			1		1	2		1	11
焼損床面積(建物)	㎡	57	472	35	280	66		1				155	124	1,190
焼損表面積(建物)	㎡							1						1
焼損面積(林野)	a													
死者数	人		1											1
建物火災	人		1											1
建物火災以外	人													
負傷者数	人		1		1			1					2	5
建物火災	人		1		1								2	4
建物火災以外	人							1						1
損害額	千円	4,912	46,296	9,722	33,779	6,062		28		84	1,334	9	14,357	116,583
建物火災	千円	4,782	45,522	9,722	33,737	3,786		28		28	70		14,157	111,832
林野火災	千円													
車両火災	千円	130	774		40						1,264		200	2,408
船舶火災	千円													
航空機火災	千円													
その他の火災	千円				2	2,276				56		9		2,343
り災世帯数	世帯	2	5	1	1					1	2	2	2	16
全損	世帯	1	3									2	1	7
半損	世帯	1		1										2
小損	世帯		2		1					1	2		1	7
り災人員	人	4	15	4	2					5	4	3	3	40



原因別出火件数

(平成29年中)

月別 原因別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
たばこ			1										1
こんろ	1	1											2
かまど				1									1
風呂かまど													
炉													
焼却炉													
ストーブ			1										1
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管	1											1	2
電気機器				1					1	1			3
電気装置			1										1
電灯・電話等の配線				1					1	1			3
内燃機関													
配線器具											1		1
火遊び													
マッチ・ライター													
たき火	1		1	1	4	2		2	1				12
溶接機・切断機				1									1
灯火													
衝突の火花													
取灰									1				1
火入れ												1	1
放火		1					1						2
放火の疑い													
その他		1			1		1			2			5
不明・調査中		3		1	1		1				2	2	10
合計	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47

過去10年間の主な出火原因の推移

出火原因	1位	たき火 15件	たき火 18件	たき火 11件	たき火 11件	たき火 16件	たき火 12件	たき火 13件	その他 12件	たばこ 5件	たき火 12件
	2位	放火 8件	こんろ 8件	たばこ こんろ	こんろ 10件	こんろ 9件	その他 9件	その他 7件	こんろ 5件	電灯・ 電話等 の配線 4件	その他 5件
	3位	こんろ その他 6件	その他 7件	その他 6件	放火 7件	その他 7件	こんろ 8件	こんろ 火入れ 放火の疑い その他 3件	たき火 4件	たき火 放火の疑い その他 3件	電気機器 電灯・電話等 の配線 3件
出火件数		61件	74件	47件	73件	64件	67件	49件	47件	34件	47件
統計年		20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年

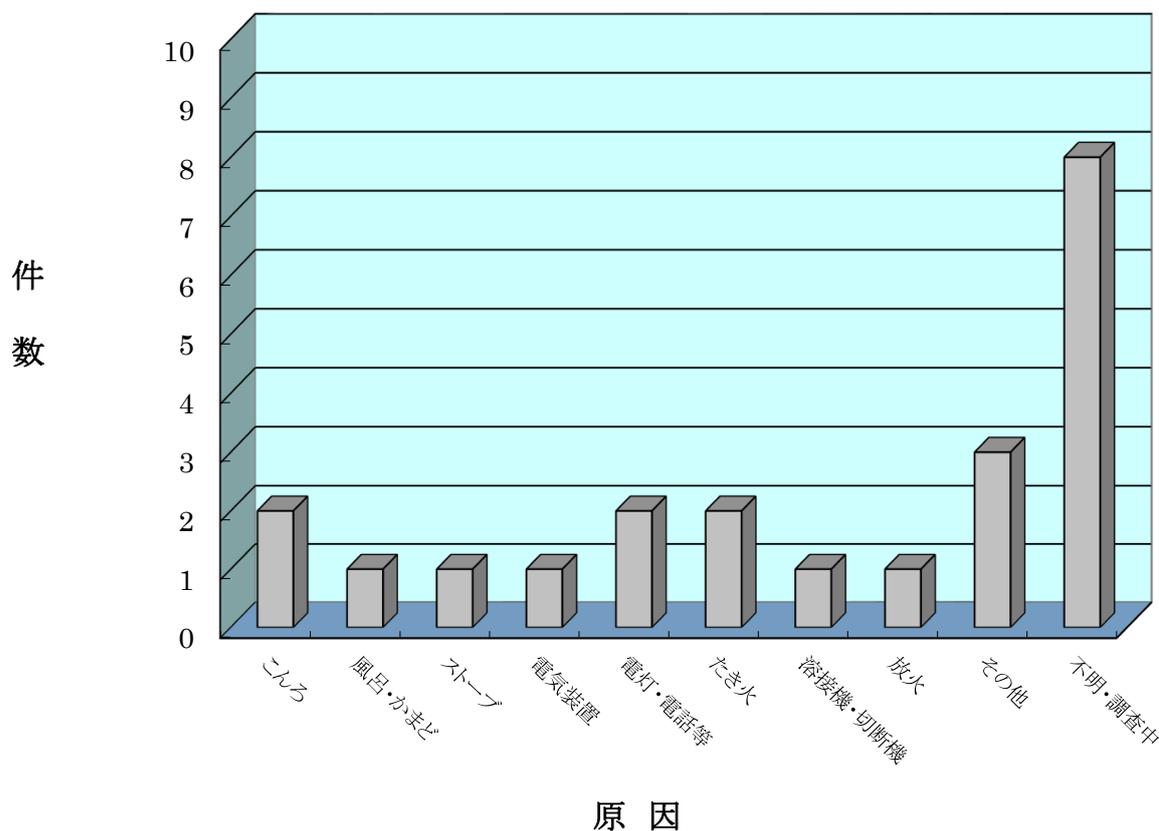
建物用途別出火件数

(平成29年中)

用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住 宅		1	1						1	1	2	1	7
共 同 住 宅		3								1			4
寄 宿 舎													
事 務 所			1										1
店 舗													
工 場													
作 業 場					1								1
倉 庫	1			1			1						3
納 屋		1		1									2
物 置				1	1								2
置 場													
車 庫													
養 畜 舎													
そ の 他	1											1	2
計	2	5	2	3	2		1		1	2	2	2	22

建物火災の出火原因

(平成29年中)



覚知別出火件数

(平成29年中)

覚知別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
火災報知専用電話 (NTT以外の固定電話)					1								1
火災報知専用電話 (NTT加入の固定電話)		2					1	1	1		1	2	8
火災報知専用電話 (携帯電話)		2	2	5	5	2	1	1	1	2	1	2	24
加入電話 (固定電話)	1												1
加入電話 (携帯電話)													
警察電話													
駆け付け通報													
事後聞知	2	1	2	1			1		2	2	1		12
その他		1											1
合計	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47

曜日別火災概況

(平成29年中)

内訳	出火件数(件)							死傷者(人)		焼損面積			損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	傷者	建物 (m ²)	表面積 (m ²)	林野 (a)	
日曜日	7	2					5			54			9
月曜日	8	6					2		1	299			34,687
火曜日	5	3		1			1	1	1	519			50,874
水曜日	5	2					3		1				1,140
木曜日	7	3		2			2			57			6,158
金曜日	7	2		1			4			35			9,372
土曜日	8	4		1			3		2	226	1		14,343
不明													
合計	47	22		5			20	1	5	1,190	1		116,583

時間別出火概況

警防・救急

(平成29年中)

区分 時間別	出火件数(件)							死傷者(人)		焼損面積			損害額(千円)
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	死者	負傷者	建物(m ²)	表面積(m ²)	林野(a)	
0～1	2	1					1			101			
1～2	2			1			1						774
2～3	1						1						
3～4	1						1						9
4～5	1	1											4
5～6													
6～7													
7～8	1	1								187			22,806
8～9	1	1							2	124			14,157
9～10	4	3					1		1	71			14,256
10～11	1	1								10			167
11～12	3			1			2						130
12～13	4	1		1			2			54			200
13～14	5	2					3		1				44
14～15	4	1		1			2			15			233
15～16	5	3					2	1	1	555			56,154
16～17	2	1					1						1,140
17～18	1						1						
18～19	1						1						
19～20	3	1		1			1			57			6,020
20～21	1	1											70
21～22													
22～23	2	2								16	1		419
23～24	2	2											
不明													
合計	47	22		5			20	1	5	1,190	1		116,583

気象別出火件数

(平成29年中)

区分		月別												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
天候	晴	3	3	3	2	4	2	3	2	4	1		2	29
	曇		3	1	4	2					2	3	2	17
	雨										1			1
	雪													
	不明													
	計	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47
風向	無風状態		1		2					1		1		5
	北				3			1					1	5
	北北東		1							2	1			4
	北東								1	1				2
	東北東	1									1			2
	東	1			1				1		1			4
	東南東										1			1
	南東													
	南南東													
	南													
	南南西													
	南西	1	1			1						1	2	6
	西南西		1	1		1						1		4
	西			1		1	1	1						4
	西北西		1	1			1							3
	北西		1			1							1	3
	北北西			1		2		1						4
不明														
計	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47	
風速 (m/s)	1未満		1		2			1		1	1	1		7
	1～2	2				3		1			1	2	3	12
	2～3		2	2	2	1	2			2	1		1	13
	3～4	1	3	2	2	2		1		1				12
	4～5								1					1
	5～6													
	6～7								1					1
	7～8										1			1
	8以上													
	不明													
計	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47	
湿度 (%)	40未満				1								1	2
	40～50					2								2
	50～60		3	1	1	2	1			1			2	11
	60～70		2	3	1	2	1		1				1	11
	70～80	1			1				1	1	2		1	7
	80～90	1							1		1	2		5
	90～100	1	1		2			1			2	2		9
	不明													
計	3	6	4	6	6	2	3	2	4	4	3	4	47	

月別・市別出動車両・出動人員

(平成29年中)

分類 月別 市別	出火 件数	出動 件数	事後 調査 件数	出動車両 (台)			出動人員 (人)		
				計	消防署	消防団	計	消防署	消防団
1 月	3	1	2	5	3	2	46	8	38
2 月	6	5	1	56	30	26	395	126	269
3 月	4	2	2	33	13	20	131	43	88
4 月	6	5	1	65	31	34	344	103	241
5 月	6	6		69	35	34	351	108	243
6 月	2	2		11	9	2	30	24	6
7 月	3	2	1	14	10	4	70	31	39
8 月	2	2		13	10	3	45	26	19
9 月	4	2	2	17	11	6	71	35	36
10 月	4	2	2	11	7	4	53	22	31
11 月	3	2	1	45	19	26	261	63	198
12 月	4	4		34	19	15	316	93	223
合 計	47	35	12	373	197	176	2,113	682	1,431
宗像市	28	21	7	182	110	72	964	365	599
福津市	19	14	5	191	87	104	1,149	317	832

(注) 出動件数とは、出動指令により火災出動した件数で一連の火災調査も含む。
事後調査件数とは、事後通報により火災調査のみに出向した件数である。

平成29年中の救急概況

1 救急出動件数等の概況

平成29年中の救急自動車による救急出動件数及び救急搬送人員は、6,385件、5,923人であり、前年と比べると、出動件数は336件、搬送人員は249人それぞれ増加した。

救急自動車による出動件数は、一日平均17.5件で、約82分に1件の割合で救急出動し、市民の約27人（前年約28人）に1人が救急自動車により搬送されたこととなる。

また、覚知から現場到着までの所要時間の平均は8.7分（全国平均8.5分）、医療機関収容までの所要時間の平均は31.6分（全国平均39.3分）となり、現場到着は全国平均よりも長くなったものの、医療機関収容は短くなっている。

ヘリコプター使用による搬送件数及び搬送人員は、6件、6人であり、前年と比べると、搬送件数は3件、搬送人員は3人それぞれ減少した。（内訳～福岡県ドクターヘリ6件・民間ヘリ0件）

2 救急搬送人員の詳細

平成29年中の救急搬送人員を傷病程度別割合で見ると「軽症」が33.0%、「中等症」が60.1%を占めている。事故種別構成比で最も大きかったのは、全体の63.7%を占める「急病」であり、昨年と比べ149人増加しており、「一般負傷」も、昨年と比べ49人増加している。年齢区分別割合で見ると「高齢者（65歳以上）」が、全搬送人員の61.8%を占めており、「成人（18歳以上65歳未満）」の28.6%を大きく上回っている。

今後、高齢化の一層の進展による人口構成の変化が見込まれており、救急需要はさらに高まる可能性がある。

3 市民による応急手当の状況

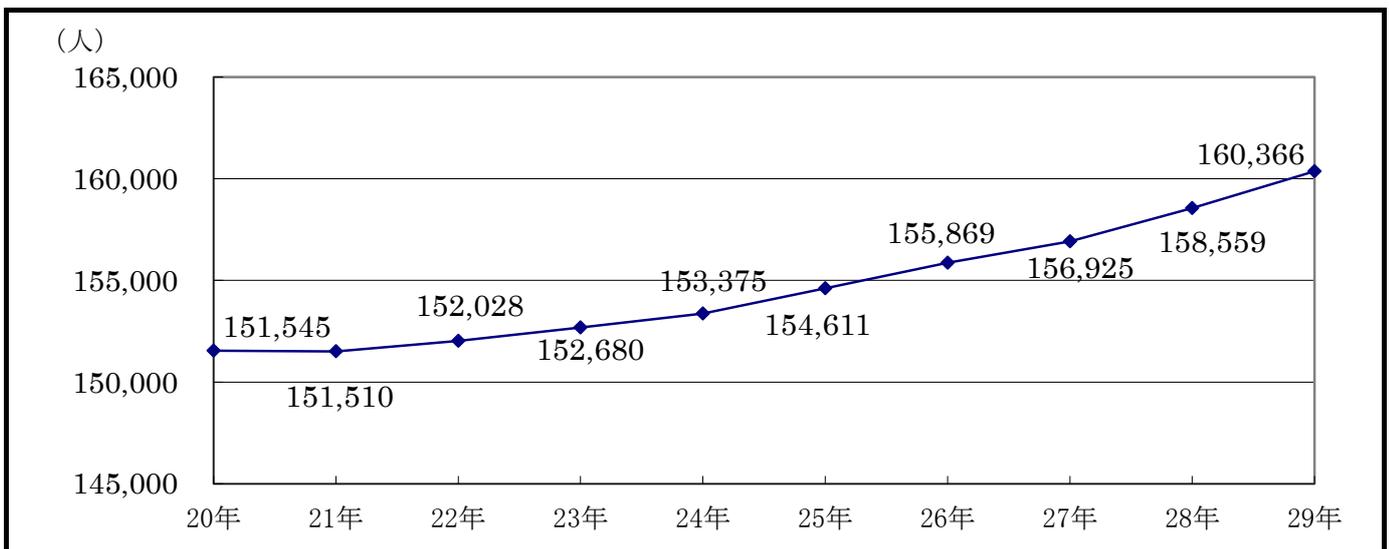
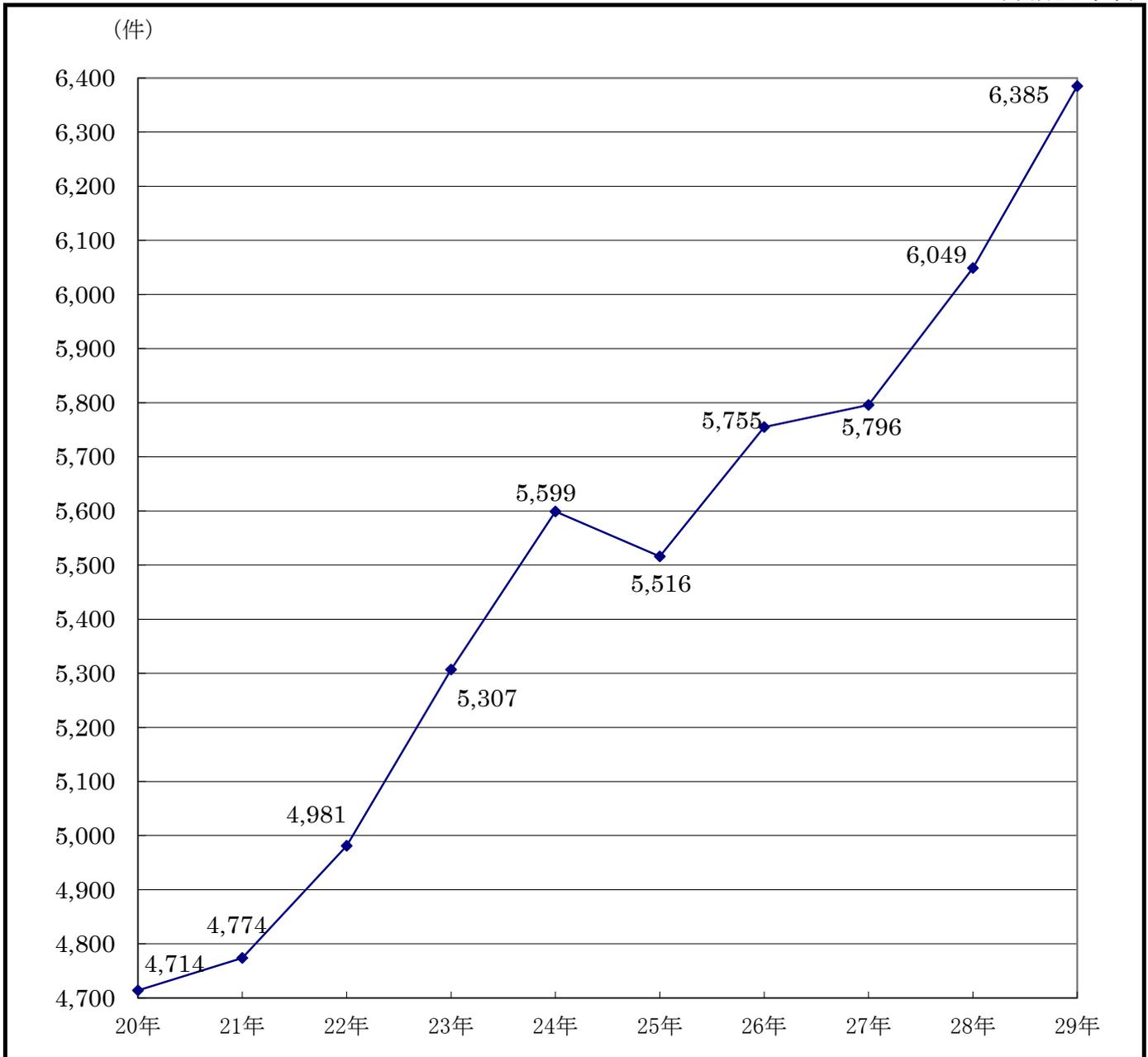
救命率の向上には、市民による応急手当実施率の向上、救急隊による迅速な搬送と応急処置、医療機関による適切な治療（救命のリレー）の地域総合力がいかに高いかが重要となる。

宗像地区消防本部では救命率の向上を図るため、バイスタンダー（救急現場に居合わせた人）による応急手当の普及啓発活動を推進し、平成6年から普及啓発に取り組み、現在までに救命講習（普通・上級）の受講者が延べ67,517人に達し、市民の約42%が受講している。

平成29年中に応急手当が実施された傷病者数は、救急隊が搬送した心肺停止傷病者数全体の66.1%にあたる80人で、平成28年より4.9%増加している（心肺停止傷病者搬送者数は、平成29年中は121人で、平成28年中より23人の増加）。

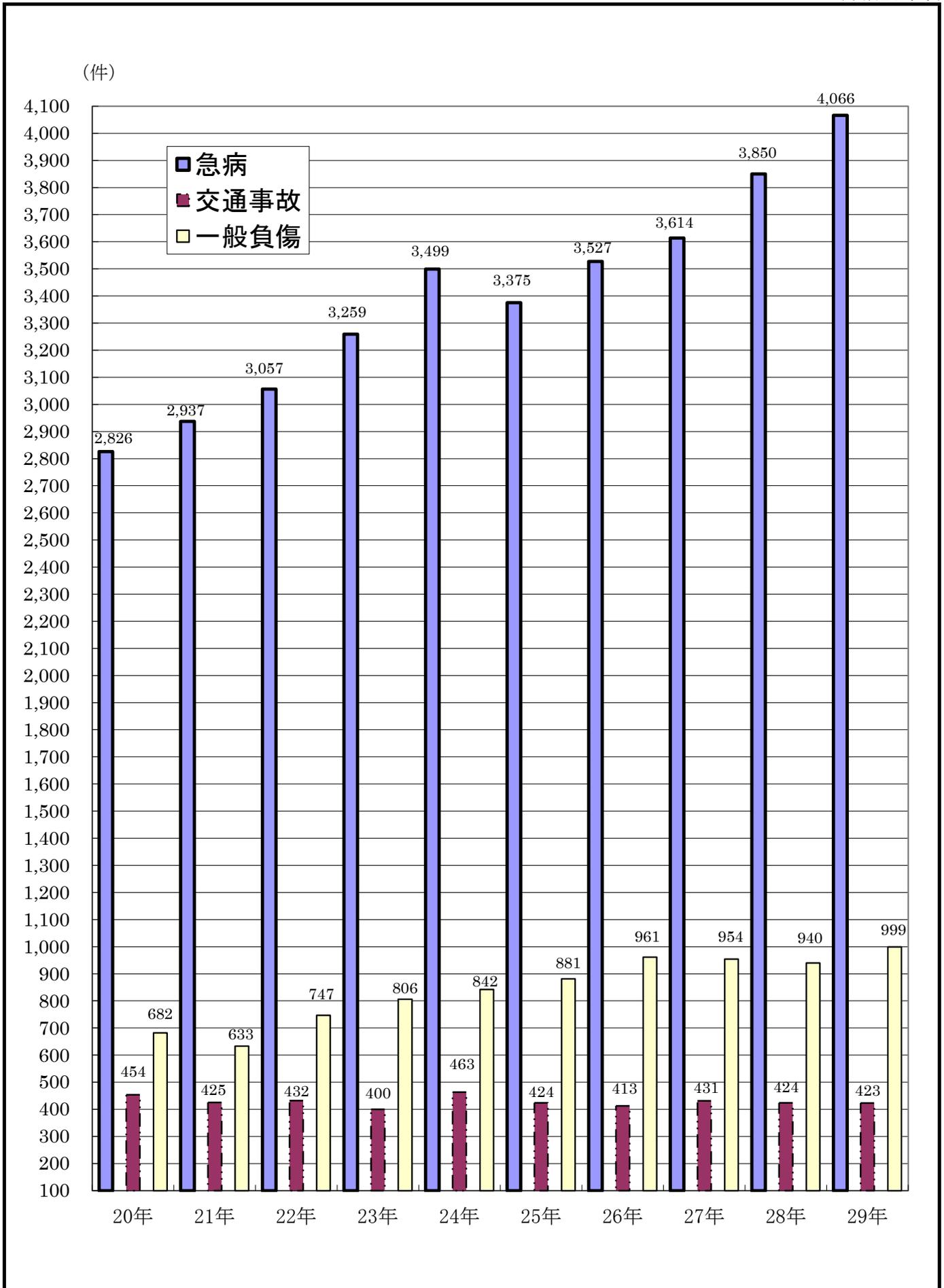
過去10年間の救急出動件数及び人口の推移

(平成29年中)



過去10年間の3大事故種別（急病・交通事故・一般負傷）の出動件数の推移

（平成29年中）



管内総括表

警防・救急

(平成29年中)

月別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資器材	その他		
出動件数	1			2	26	1	7	74	1	4	384	55			4	558	
	2	5			35	3	5	73	6	2	314	65			3	511	
	3	1			46	6	1	79	2	1	359	43			3	541	
	4	3		1	31	3	6	94	2	1	359	56			5	561	
	5	2		1	26	2	9	69	2	4	320	48			2	485	
	6				38	2	9	82	1	1	313	47				493	
	7	1		2	38	9	11	86		3	362	56			9	577	
	8			2	38	11	11	85	2	5	340	54			5	553	
	9	1			24	2	8	76	1	8	284	62			5	471	
	10				37	2	3	98		1	340	55			6	542	
	11	2			40	2	4	85	2	1	321	42			5	504	
	12	3		1	44	2	3	98	3	3	370	59			3	589	
	合計	18		9	423	45	77	999	22	34	4,066	642			50	6,385	
	前年	14	1	10	424	53	70	940	17	48	3,850	570			52	6,049	
搬送件数	1				20	1	7	67	1	4	351	54				505	53
	2	1			30	3	5	68	4	1	287	65			1	465	46
	3				43	6	1	75	2		336	43				506	35
	4			1	26	2	6	87	1		331	55				509	52
	5			1	23	2	8	63	1	4	293	47				442	43
	6				34	2	8	79		1	289	47				460	33
	7			1	35	9	11	79		2	339	56				532	45
	8			1	34	10	11	76	2	4	311	53				502	51
	9				21	2	7	74	1	5	265	61				436	35
	10				33	2	3	95		1	319	54				507	35
	11				36	2	4	81	2		302	42				469	35
	12	2		1	38	2	3	91	3	1	346	59				546	43
	合計	3		5	373	43	74	935	17	23	3,769	636			1	5,879	506
	前年	3	1	5	391	53	69	888	12	28	3,620	566			2	5,638	411
搬送人員	1				20	1	7	67	1	4	352	54				506	
	2	1			31	3	5	68	4	1	287	65			2	467	
	3				48	6	1	75	2		337	43				512	
	4			1	29	2	6	87	1		331	55				512	
	5			2	26	2	8	63	1	4	293	47				446	
	6				35	2	8	79		1	289	47				461	
	7			1	39	9	12	79		2	339	57				538	
	8			1	37	10	11	77	2	4	311	53				506	
	9				23	2	7	76	1	5	265	61				440	
	10				37	2	3	95		1	319	54				511	
	11				41	2	4	81	2		305	42				477	
	12	2		1	39	2	3	91	3	1	346	59				547	
	合計	3		6	405	43	75	938	17	23	3,774	637			2	5,923	
	前年	3	1	6	416	53	71	889	13	28	3,625	567			2	5,674	

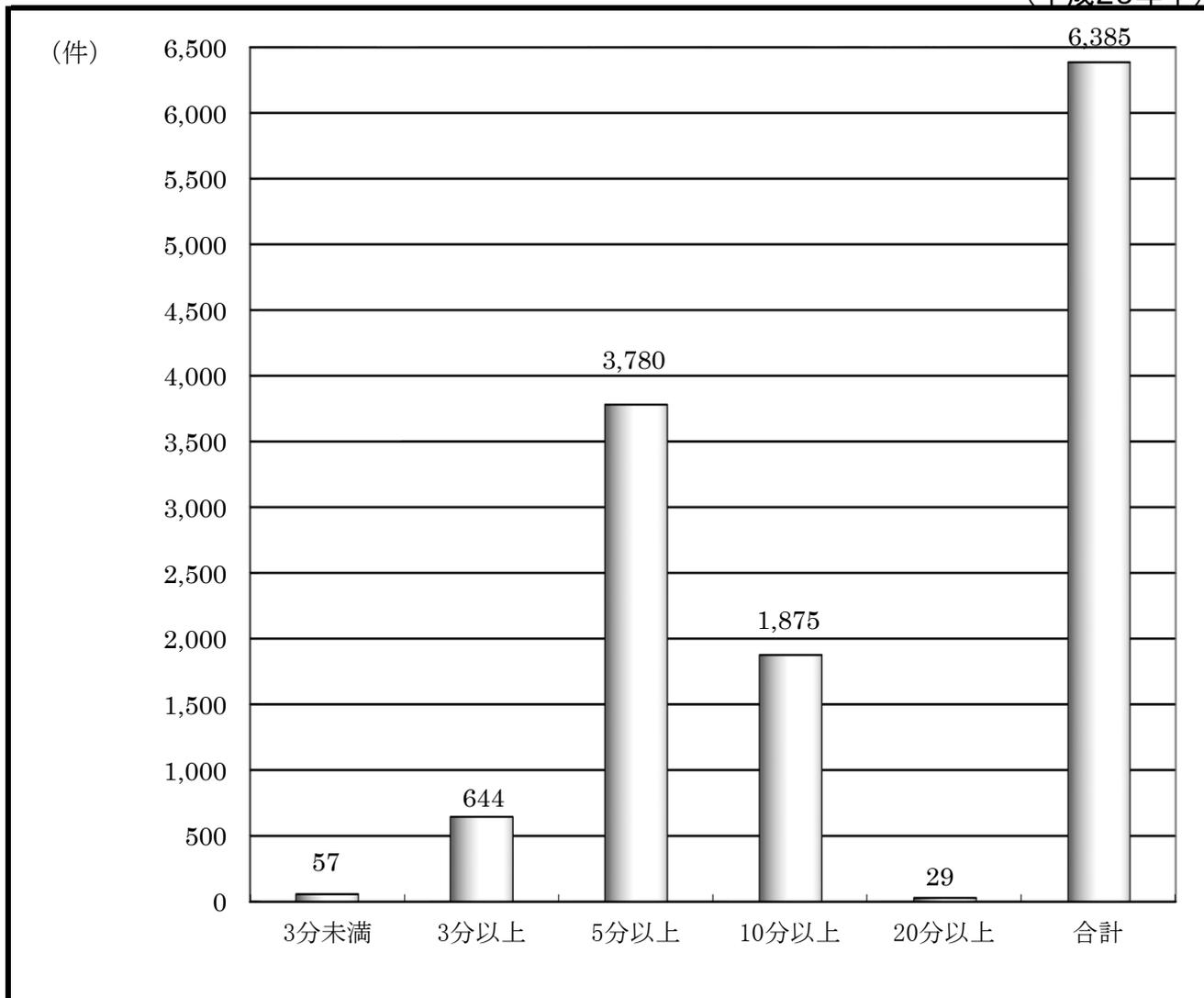
市別総括表

(平成29年中)

市別	事故種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				計	不搬送
												転院	医師	資機材	その他		
出動件数	宗像市	11		6	254	27	67	645	16	18	2,501	447			18	4,010	
	福津市	7		3	167	18	10	354	6	16	1,565	195			32	2,373	
	管外				2											2	
	合計	18		9	423	45	77	999	22	34	4,066	642			50	6,385	
搬送件数	宗像市	3		3	228	26	64	609	11	14	2,361	444			1	3,764	246
	福津市			2	143	17	10	326	6	9	1,408	192				2,113	260
	管外				2											2	
	合計	3		5	373	43	74	935	17	23	3,769	636			1	5,879	506
搬送人員	宗像市	3		3	254	26	65	612	11	14	2,363	444			2	3,797	
	福津市			3	149	17	10	326	6	9	1,411	193				2,124	
	管外				2											2	
	合計	3		6	405	43	75	938	17	23	3,774	637			2	5,923	

救急自動車による現場到着所要時間別出動件数の状況

(平成29年中)

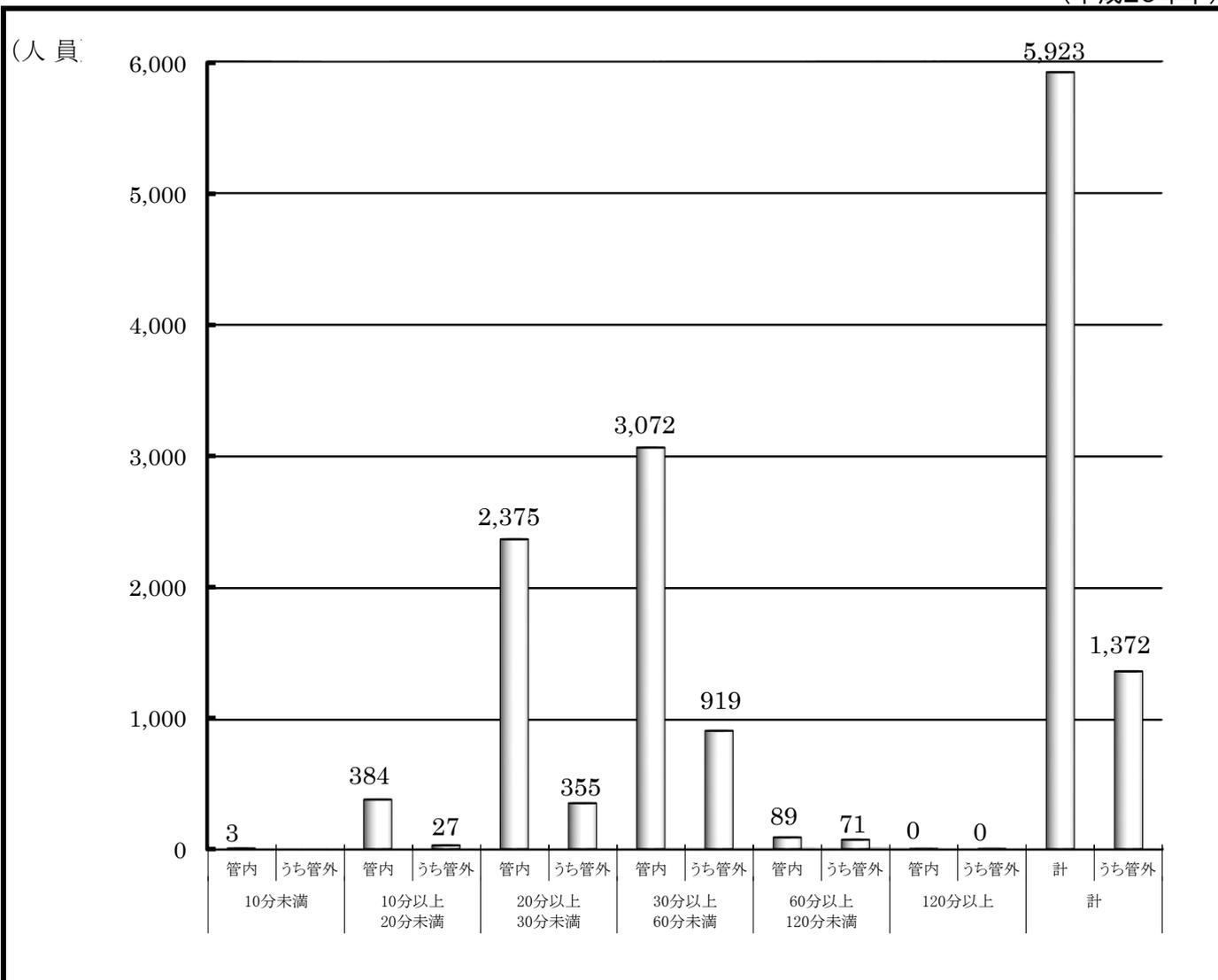


事故種別	現場到着所要時間					計	現場到着 平均 所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
合計	57	644	3,780	1,875	29	6,385	8.7
急病	24	339	2,520	1,166	17	4,066	8.7
交通事故	9	49	219	142	4	423	8.7
一般負傷	11	79	595	311	3	999	8.8
その他	13	177	446	256	5	897	8.4

(注) 1 現場到着所要時間とは、覚知から現場到着までに要した時間をいう。
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

医療機関収容所要時間

(平成29年中)



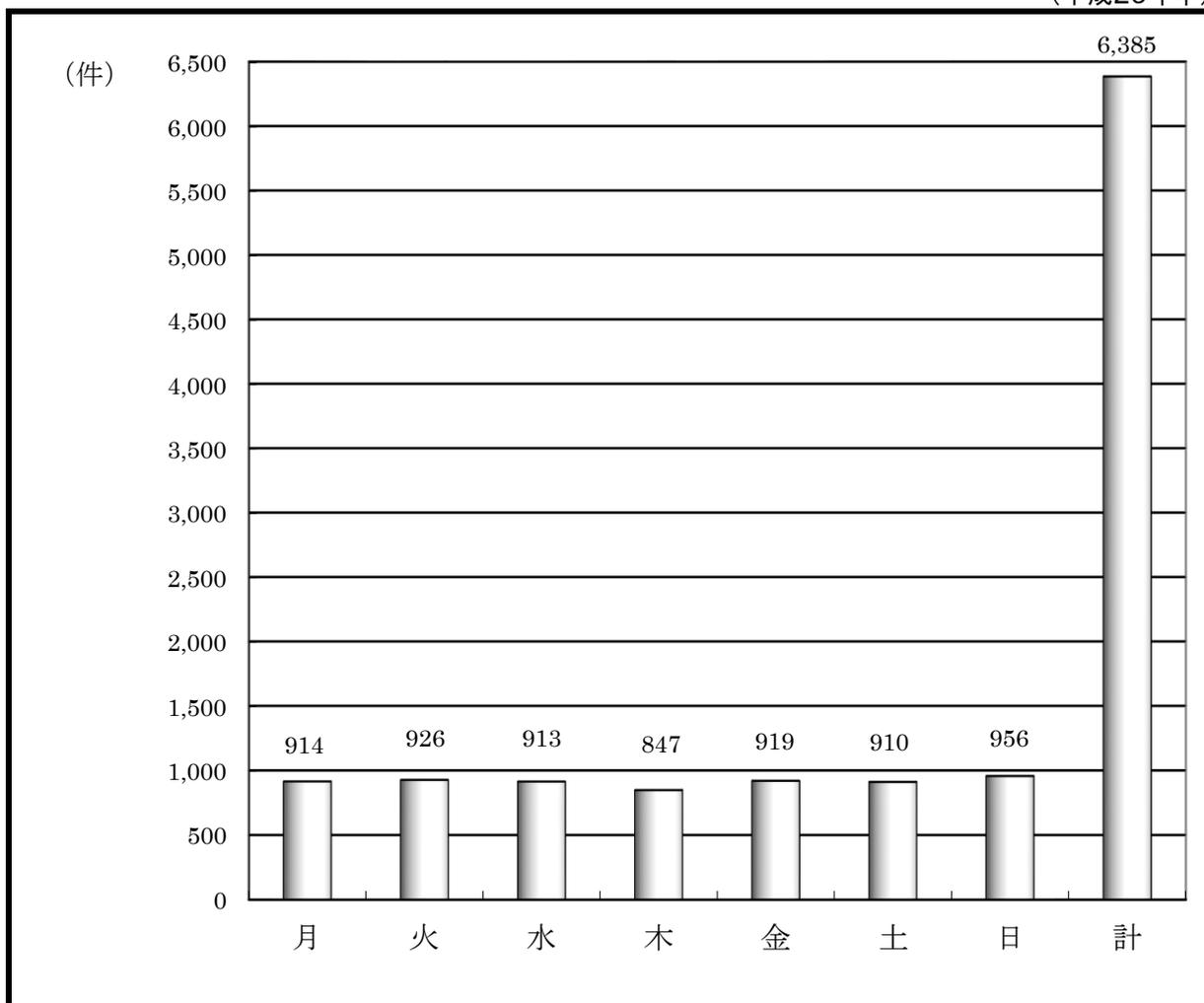
事故種別	10分未満		10分以上20分未満		20分以上30分未満		30分以上60分未満		60分以上120分未満		120分以上		計	収容平均所要時間(分)	
	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外	管内	うち管外			
合計	3		384	27	2,375	355	3,072	919	89	71			5,923	1,372	31.6
急病	1		232	14	1,473	208	2,015	534	53	39			3,774	795	31.7
交通事故			50	1	189	12	161	26	5	5			405	44	29.0
一般負傷	2		56	1	432	38	438	82	10	8			938	129	30.4
その他			46	11	281	97	458	277	21	19			806	404	34.2

(注) 1 収容所要時間とは、覚知から傷病者を医療機関等に収容するまでに要した時間をいう。
 2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

曜日別出動件数

警防・救急

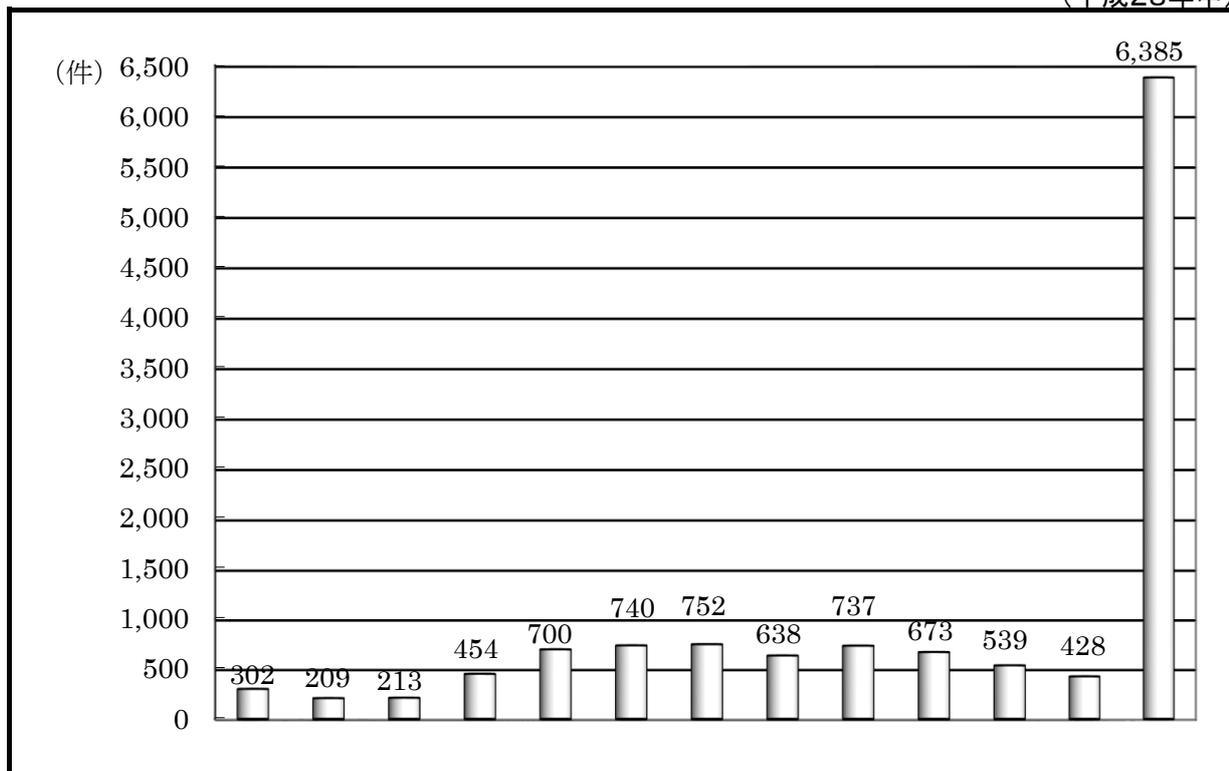
(平成29年中)



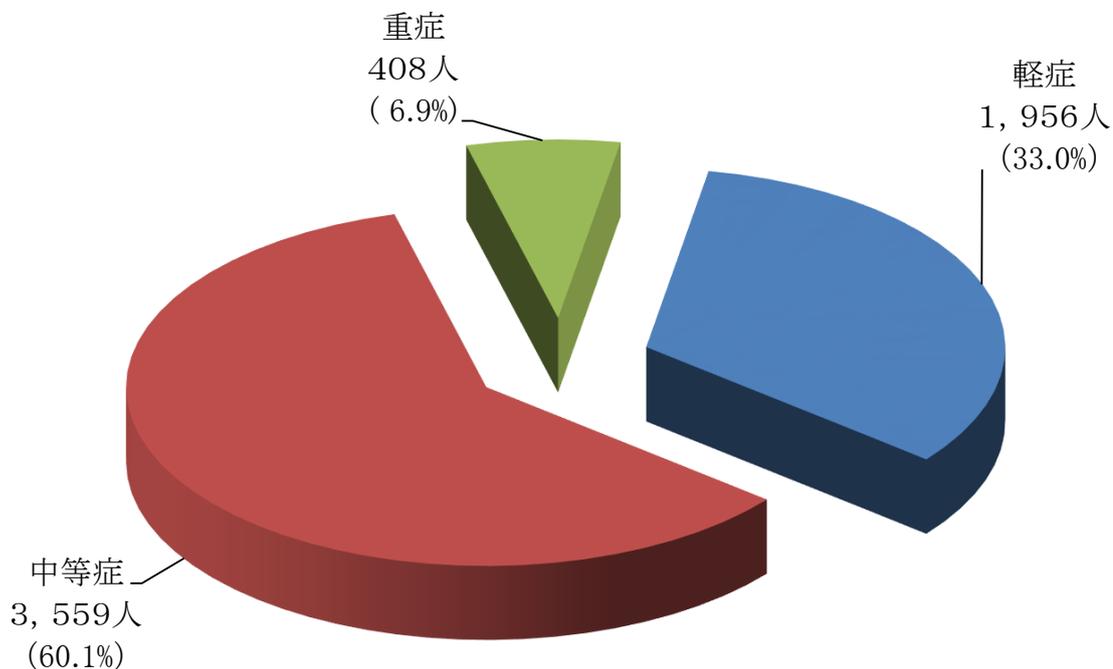
曜日 事故種別	月	火	水	木	金	土	日	計
合計	914	926	913	847	919	910	956	6,385
火災	6	3	1		3	4	1	18
自然災害								
水難	2	1	3			1	2	9
交通事故	49	70	64	60	57	57	66	423
労働災害	7	5	6	9	8	6	4	45
運動競技	7	7	12	4	4	22	21	77
一般負傷	138	132	130	124	148	150	177	999
加害	4		1	4	5	4	4	22
自損行為	6	4	6	5	4	3	6	34
急病	584	598	602	547	562	558	615	4,066
その他	111	106	88	94	128	105	60	692
前年	884	803	849	853	898	923	839	6,049

時間別出動件数

(平成28年中)



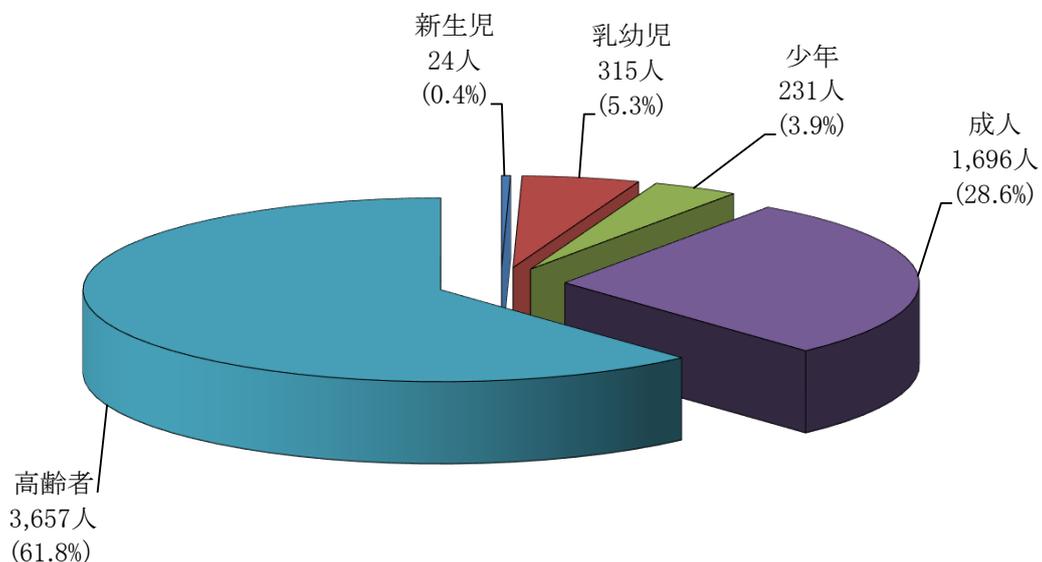
事故種別	時間別													計
	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22		
合計	302	209	213	454	700	740	752	638	737	673	539	428	6,385	
火災	1			2	3	2	2	4		1		3	18	
自然災害														
水難				2		1	3	2		1			9	
交通事故	18	7	8	36	50	41	55	47	72	48	26	15	423	
労働災害		1	1	1	9	6	7	8	6	3	1	2	45	
運動競技	1			2	3	14	18	18	12	5	4		77	
一般負傷	31	30	20	66	146	114	114	110	135	98	79	56	999	
加害	5	1		2	1	2	2	2	1	2	4		22	
自損行為	2	1	1	3	6	1	5	1	6	5	2	1	34	
急病	223	156	168	326	425	415	441	342	425	447	381	317	4,066	
その他	転院	16	12	13	10	52	139	99	99	78	62	35	27	642
	医師													
	資器材													
	その他	5	1	2	4	5	5	6	5	2	1	7	7	50
前年	266	247	245	393	687	749	638	647	590	650	544	393	6,049	



事故種別 程度別	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
合 計	3		6	405	43	75	938	17	23	3,774	639	5,923
軽 症				257	19	50	459	10	5	1,123	33	1,956
中 等 症	2		3	131	23	24	420	7	8	2,433	508	3,559
重 症	1		3	17	1	1	59		10	218	98	408
死 亡												

年齢別搬送人員

(平成29年中)



年 齢	事故種別	事故種別											計
		火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他	
新 生 児 (生後28日未満)								1				23	24
乳 幼 児 (生後28日以上7歳未満)					12			70	2		188	43	315
少 年 (7歳以上18歳未満)	1		2	47		55	30			84	12	231	
成 人 (18歳以上65歳未満)	1		2	239	35	18	131	10	16	1,033	211	1,696	
高 齢 者 (65歳以上)	1		2	107	8	2	706	5	7	2,469	350	3,657	
合 計	3		6	405	43	75	938	17	23	3,774	639	5,923	

救急隊員が行った応急処置等の状況

警防・救急

(平成29年中)

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
処置対象人員	3,772	405	938	802	5,917
処置項目					
止血	19	11	41	7	78
固定	80	201	309	66	656
人工呼吸	41		5	7	53
酸素吸入	680	17	36	265	998
保温	797	62	148	171	1,178
被覆	12	66	204	29	311
心肺蘇生	107	5	16	14	142
うち自動式心マッサージ器使用	38	1	5		44
在宅療法	16				16
ショックパンツ					
血圧測定	3,641	389	885	755	5,670
心音・呼吸音聴取	3,634	391	838	742	5,605
血中酸素飽和度測定	3,700	394	922	783	5,799
心電図測定	3,291	267	672	673	4,903
気道確保	129	7	17	19	172
うち経鼻エアウェイを使用しての気道確保	1				1
うち喉頭鏡・鉗子等による異物除去	2		3		5
うちラリングアルマスク等を使用しての気道確保	45	1	5	2	53
うち気管挿管を使用しての気道確保	1		3		4
除細動	12		1		13
静脈路確保	54	4	10	6	74
薬剤投与	30	1	10	2	43
その他	3,655	373	888	761	5,677

(注) 1 1名につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象人員と事故種別ごとの処置項目の計の数とは一致しない。

2 上記「その他」は「急病」「交通事故」「一般負傷」以外の事故種別をいう。

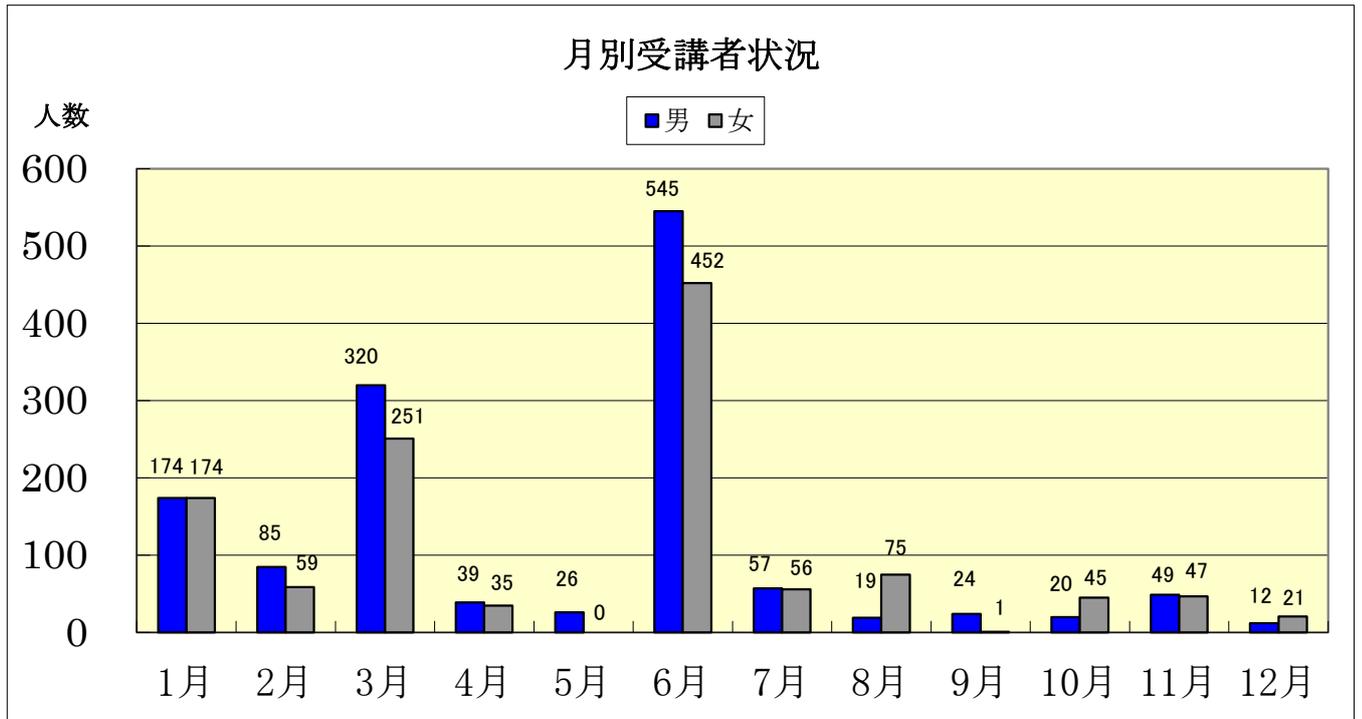
急病にかかる疾病分類別搬送人員

(平成29年中)

年齢区分		疾病分類										計
		脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	
新生児	死亡											
	重症											
	中等症											
	軽症											
	小計											
乳幼児	死亡											
	重症									3		3
	中等症			3	10		4			52		69
	軽症			2	9		3			100	2	116
	小計			5	19		7			155	2	188
少年	死亡											
	重症									2		2
	中等症		1	2	4		7	1		15	7	37
	軽症		1	2	12		9	1		17	3	45
	小計		2	4	16		16	2		34	10	84
成人	死亡											
	重症	18	5	1		3		1	3	14	2	47
	中等症	45	38	54	50	43	34	24	9	230	76	603
	軽症	3	16	23	51	46	21	17		174	32	383
	小計	66	59	78	101	92	55	42	12	418	110	1,033
高齢者	死亡											
	重症	47	25	6	8			1	4	71	4	166
	中等症	185	168	129	218	14	32	22	30	780	146	1,724
	軽症	26	52	24	25	29	31	13		310	69	579
	小計	258	245	159	251	43	63	36	34	1,161	219	2,469
計	死亡											
	重症	65	30	7	8	3		2	7	90	6	218
	中等症	230	207	188	282	57	77	47	39	1,077	229	2,433
	軽症	29	69	51	97	75	64	31		601	106	1,123
合計		324	306	246	387	135	141	80	46	1,768	341	3,774

(注) 年齢区分は新生児(生後28日未満)、乳幼児(生後28日以上7歳未満)、少年(7歳以上18歳未満)、成人(18歳以上65歳未満)、高齢者(65歳以上)を示す。

(平成29年中)



月別	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ						上級救命講習						合計	
	受講者数						受講者数						普通・上級	
	男	再講習	女	再講習	合 (男・女)	計 (再講習)	男	再講習	女	再講習	合 (男・女)	計 (再講習)	普通・上級	再講習
1月	174	15	174	29	348	44							348	44
2月	85	17	59	1	144	18							144	18
3月	320	45	251	47	571	92							571	92
4月	28	19	17	11	45	30	11	1	18		29	1	74	31
5月	26	18			26	18							26	18
6月	545	37	452	5	997	42							997	42
7月	57	15	56	5	113	20							113	20
8月	19	2	75	14	94	16							94	16
9月	24		1		25								25	
10月			24	22	24	22	20	3	21	3	41	6	65	28
11月	49	20	47	21	96	41							96	41
12月	12	1	21	2	33	3							33	3
小計	1,339	189	1,177	157	2,516	346	31	4	39	3	70	7	2,586	353
合計	2,516(346)						70(7)						2,586(353)	
累計	64,921(8,210)						2,596(210)						67,517(8,420)	

※ 平成 29年中の救命講習 受講者総数 2,586人
 うち普通救命講習 受講者数 2,516人
 うち上級救命講習 受講者数 70人

※ 平成 29年12月31日現在の救命講習 受講者総数 67,517人
 うち普通救命講習 受講者数 64,921人
 うち上級救命講習 受講者数 2,596人

※ 平成29年中の応急手当普及員講習 受講者数 6人
 ※ 平成29年中の救急講習回数～85回 受講者数～2,445人

消防隊による救急活動状況

・消防隊による救急活動件数

(平成29年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
出動件数	宗像市				7			8			37	2	54
	福津市				4			2		2	15		23
	管外												
	合計				11			10		2	52	2	77

※ 「消防隊による救急活動」とは、救急隊が現場到着まで10分以上要する場合に消防隊が先行出動し、救急隊に引継ぐまで応急処置等を行うもの。

・消防隊による救急支援活動件数

(平成29年中)

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
出動件数	宗像市			4	45		2	24	5	7	153	7	247
	福津市			1	25			10	1	9	95	4	145
	管外												
	合計			5	70		2	34	6	16	248	11	392

※ 「消防隊による救急支援活動」とは、救急隊単隊では搬送困難な場合や救急活動に際し危険がある場合に救急隊と同時出動し、搬送支援または現場安全確保にあたるもの。

平成29年中の救助概況

平成29年中の救助出動件数は39件で、前年と比べると5件減少している。救助活動件数は22件で、1件減少している。

なお、救助人員は22人で、前年と比べると1人減少している。
(下表参照)

救助活動件数及び救助人員の推移

区分 年	救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
25年	39	34.5%	33	10%
26年	27	▲30.8%	26	▲21.2%
27年	24	▲11.1%	22	▲15.4%
28年	23	▲4.2%	23	4.5%
29年	22	▲4.3%	22	▲4.3%

事故種別ごとに出動件数をみると、最も多いのは、「交通事故」の19件で全体の48.7%を占めている。次いで「その他の事故」10件(25.6%)、以下「建物等による事故」4件(10.3%)、「水難事故」3件(7.7%)、「火災」2件(5.1%)、「風水害等自然災害」が1件(2.6%)の順となっている。

救助活動件数では、「交通事故」が最も多く10件で全体の45.5%を占め、次いで「その他の事故」7件(31.8%)、「火災」及び「建物等による事故」がそれぞれ2件(各9.1%)、「水難事故」が1件(4.5%)の順となっている。

救助人員は22人で、救助活動1件当たり1人を救助していることになり、事故種別ごとにみると、「交通事故」が14人で最も多く、全体の63.6%を占めている。

管内総括表

(平成29年中)

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス欠及び 酸欠事故	破裂事故	その他	合計	前年
出動件数 (件)	2	19	3	1		4			10	39	44
活動件数 (件)	2	10	1			2			7	22	23
救助人員 (人)		14	1			1			6	22	23
活動人員 (人)	187	127	26			11			87	438	365
活動車両台数(台)	36	40	6			3			28	113	115

主な救助活動

(平成29年中)

発生日	発生場所	事故種別	事故内容	出動状況		活動状況		救助人員
				人員	台数	人員	台数	
6月5日	福津市	交通事故	高齢男性が一般道を農耕用トラクターで走行中に誤って落差2.5m下の田んぼに転落し、背中部分を挟まれているとの通報により救助出動したもの。田んぼ内に進入後、人力で農耕用トラクターを持ち上げ高齢男性を救出し、バックボードに固定し路上まで引き上げ救出したもの。	17	5	17	5	1
7月27日	宗像市	その他の事故	共同住宅の屋上で、作業をしていた男性が頭痛、めまい及び痙攣を生じ地上に降りられないとの通報により救助出動したもの。男性を観察しスノーボードに収容、救助工作車のクレーンにて地上に救出したもの。	12	4	12	4	1
10月7日	福津市	その他の事故	登山者の男性1名が、下山してないとの通報により救助出動したもの。山頂付近で要救助者を発見、観察の結果、歩行可能であったため介添にて下山させたもの。	15	5	15	5	1
12月31日	宗像市	水難事故	沖合300mで船が転覆し、乗組員が行方不明との通報により救助出動したもの。沖合200mの波止場下の消波ブロック内で要救助者を発見、用手にて波止場上まで引き上げ、スノーボードに収容し救出したもの。	15	4	15	4	1

市別救助出動件数

(平成29年中)

市別		火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災害 等	よる 機械に よる事故	建よる 物等に よる事故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その 他 事 故	計
出 動 件 数	宗 像 市	1	13	1			2			5	22
	福 津 市	1	6	2			2			5	16
	管 外				1						1
	合 計	2	19	3	1		4			10	39
市別		火災	交通事 故	水難事 故	風自然 水害災 害等	よる 機械に よる事 故	建よる 物等に よる事 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その 他 事 故	計
活 動 件 数	宗 像 市	1	7	1						5	14
	福 津 市	1	3				2			2	8
	管 外										
	合 計	2	10	1			2			7	22
市別		火災	交通事 故	水難事 故	風自然 水害災 害等	よる 機械に よる事 故	建よる 物等に よる事 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その 他 事 故	計
救 助 人 員	宗 像 市		11	1						5	17
	福 津 市		3				1			1	5
	管 外										
	合 計		14	1			1			6	22

月別救助出動件数

(平成29年中)

月別	火災	交通事故	水難事故	風自然 水害災 害等	よる 機械に よる事 故	建よる 物等に よる事 故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	その 他 事 故	計	前 年
合 計	2	19	3	1		4			10	39	44
1 月		1								1	2
2 月	1	2							1	4	4
3 月		2							2	4	2
4 月		1							1	2	2
5 月		1								1	4
6 月		1								1	2
7 月		1							2	3	8
8 月		4							1	5	5
9 月		3								3	2
10 月		1	1	1					2	5	2
11 月	1	1				3			1	6	5
12 月		1	2			1				4	6

119番受信状況

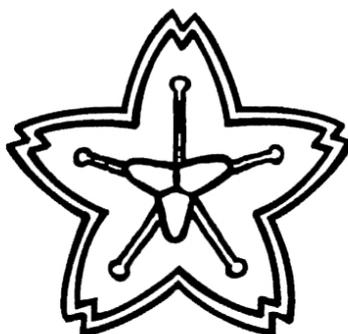
(平成29年中)

	火 災		救 急		その他の 災 害		問合せ		まちがい		いたずら		試 験		その他		計	
	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	携帯	
1 月	3	1	553	405	5	5	70	55	67	44	4	3	56	13	53	32	811	558
2 月	11	11	502	364	11	9	46	35	65	38	1	0	49	26	49	32	734	515
3 月	1	1	528	377	5	4	62	47	71	49	0	0	78	37	58	33	803	548
4 月	8	8	557	408	5	4	59	42	66	47	3	0	83	26	60	41	841	576
5 月	13	13	472	355	4	3	63	48	51	38	0	0	84	26	59	30	746	513
6 月	1	1	485	365	11	11	40	30	56	35	0	0	104	32	37	22	734	496
7 月	2	1	564	415	5	3	66	53	77	56	4	0	91	24	53	32	862	584
8 月	2	2	544	404	9	8	56	41	87	66	1	1	62	23	42	21	803	566
9 月	4	3	474	338	11	8	54	47	67	50	1	0	90	29	45	31	746	506
10 月	2	2	532	392	25	22	71	61	99	66	0	0	93	37	43	27	865	607
11 月	11	10	509	364	11	11	53	42	89	65	2	0	225	152	45	31	945	675
12 月	5	3	597	456	17	14	40	30	47	42	1	0	24	0	57	42	788	587
合 計	63	56	6,317	4,643	119	102	680	531	842	596	17	4	1,039	425	601	374	9,678	6,731

消防団の活動

消防団は、郷土愛の精神と自らの郷土は、自らが守るをいう自主防災意識の高い人々により組織され、地域住民の尊い生命、財産を火災や台風・洪水などの災害から守るため日夜活躍しています。

勇気



宗像市消防団

福津市消防団

団結

迅速

4月

29年度主な活動

6月

3月



団・署合同水防訓練



消防団・消防署合同訓練

- 宗像市全団員訓練(5月)
- 大島地区火災防ぎょ訓練(5月)
- 合同分団訓練(5~6月)
- 宗像市団機関員訓練(5~10月)
- 宗像市水害対応訓練(6月)
- 団・署合同水防訓練(6月)
- 宗像市団(大島)中継訓練(10月)
- 秋季火災予防週間防火啓発パレード(11月)
- 団・署合同火災防ぎょ訓練(11月)
- 宗像市団ブラインド訓練(11月)
- 年末夜警(12月)
- 合同分団訓練(12~1月)
- 平成30年宗像地区消防出初式(1月)
- 文化財防ぎょ訓練(1月)
- 団・署合同林野火災防ぎょ訓練(3月)
- 宗像市分団長以上視察(3月)



林野火災防ぎょ訓練



文化財防ぎょ訓練

11月

1月



平成30年宗像地区消防出初式

消防団の組織

(平成30年4月1日現在)

・宗像市消防団

団長 吉武 大作

	分 団 名	区 域	実 員	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 20px;">副団長</div> </div>	本部	宗像市全域	23人	※
	第1分団	吉武地区	39人	
	第2分団	赤間地区	32人	
	第3分団	田久・土穴地区	28人	
	第4分団	自由ヶ丘地区	24人	
	第5分団	河東・赤間西地区	47人	
	第6分団	南郷(南部)地区	40人	
	第7分団	南郷(北部)地区	30人	
	第8分団	東郷地区	30人	
	第9分団	田熊・用山・村山田地区	30人	
	第10分団	日の里地区	27人	
	第11分団	田島地区	42人	
	第12分団	神湊地区	63人	
	第13分団	池野地区	33人	
	第14分団	岬地区	58人	
	第15分団	大島一円	32人	
第16分団	大島一円	29人		
	宗像市・県総合庁舎 合同分団	宗像市全域	25人	

※本部には、団長、副団長及び女性班を含む。

消防団の組織

(平成30年4月1日現在)

・福津市消防団

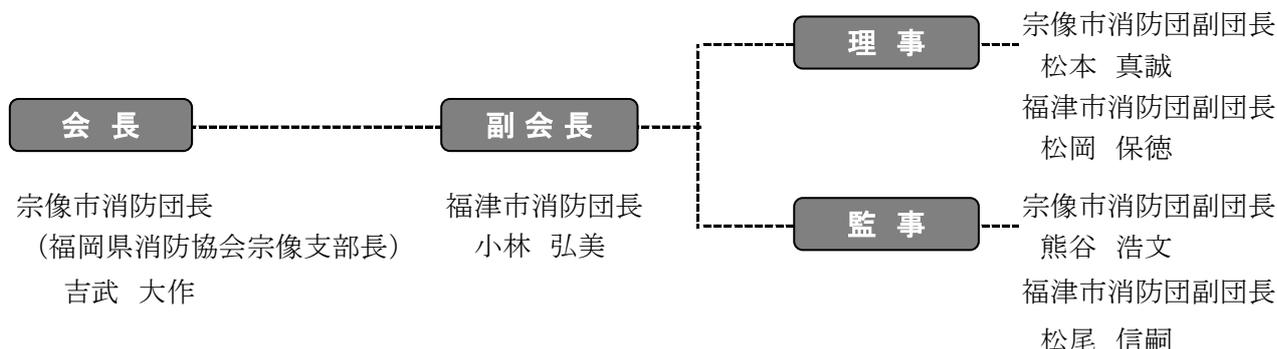
団長 小林 弘美

分団名	区 域	実 員	
本部	福津市全域	19人	※
第1分団	津屋崎地区各区・渡区の区域	34人	
第2分団	宮司地区各区・在自区、宮司ヶ丘地区、 五反田区、星ヶ丘区の区域	30人	
第3分団	須多田区、大石区・生家区、塩浜区、梅津区の区域	20人	
第4分団	奴山区、桂区、西東区、勝浦浜区、 勝浦松原区の区域	21人	
第5分団	四角区、両谷区、光陽台1区・2区・3区・南区、 日蔭野1～6区の区域	26人	
第6分団	緑町、南町、本町区、昭和町1区、西福間1区、 大和1区・2区、古町区、福間松原区、 日蔭野1～6区の区域	30人	
第7分団	花見1区・2区・3区・4区、原町1区・2区・3区、 有弥の里1区・2区、日蔭野1～6区の区域	22人	
第8分団	手光区、通り堂区、光陽台4区・5区・6区、 小竹区、冠区、東福間1～11区、高平区の区域	17人	
第9分団	津丸区、久末区、若木台1～6区、桜川区、 あけぼの区、八波区の区域	22人	
第10分団	上西郷区、内殿区、舎利蔵区、 日蔭野1～6区の区域	24人	
第11分団	畦町区、本木区の区域	16人	
第12分団	福間沿岸	8人	
第13分団	津屋崎沿岸	14人	

※本部には、団長、副団長及び女性班を含む。

福岡県消防協会 宗像地区連絡協議会の組織

(平成30年4月1日現在)



消防団の定員および実員

(平成30年4月1日現在)

団員	市別	宗 像 市	福 津 市	計
定 員		634	361	995
実 員		632	303	935

消防団の出動状況

(平成29年中)

市別	区分	火 災 件 数	消 防 機 械 出 動 件 数	出 動 延 人 員
宗 像 市		28	21	599
福 津 市		19	14	832
合 計		47	35	1,431

消防ポンプ車等の装備状況

(平成30年4月1日現在)

市別	区分	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	小 型 動 力 ポ ン プ	計
宗 像 市		16		6	22
福 津 市		11	1	8	20
合 計		27	1	14	42